

彼女に振られたら ママさんが やってきた件



ぜんまいころぎ



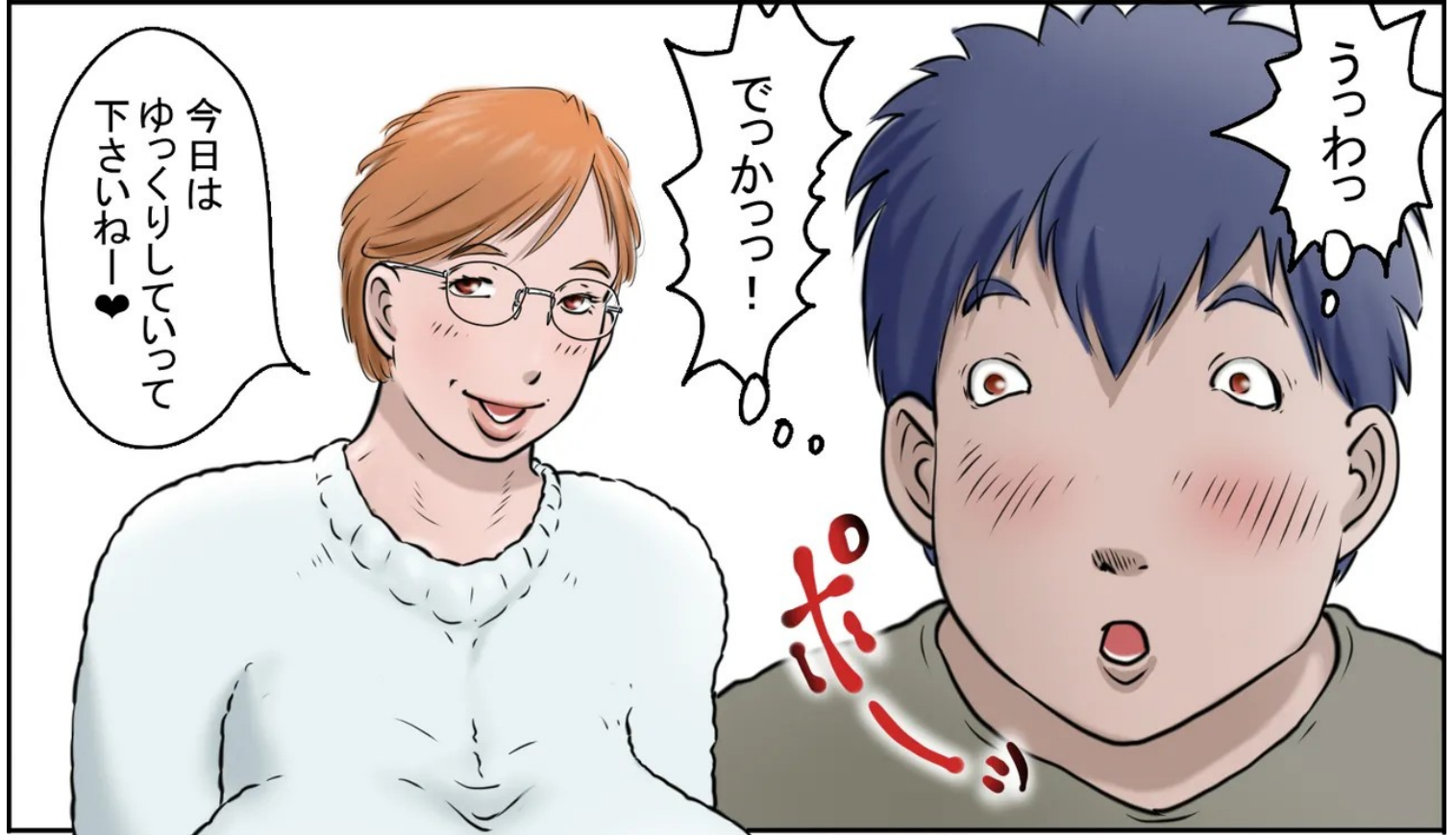
彼女の家に
行ったその日

ママさんが
規格外の巨乳
であることを
知った

初めまして

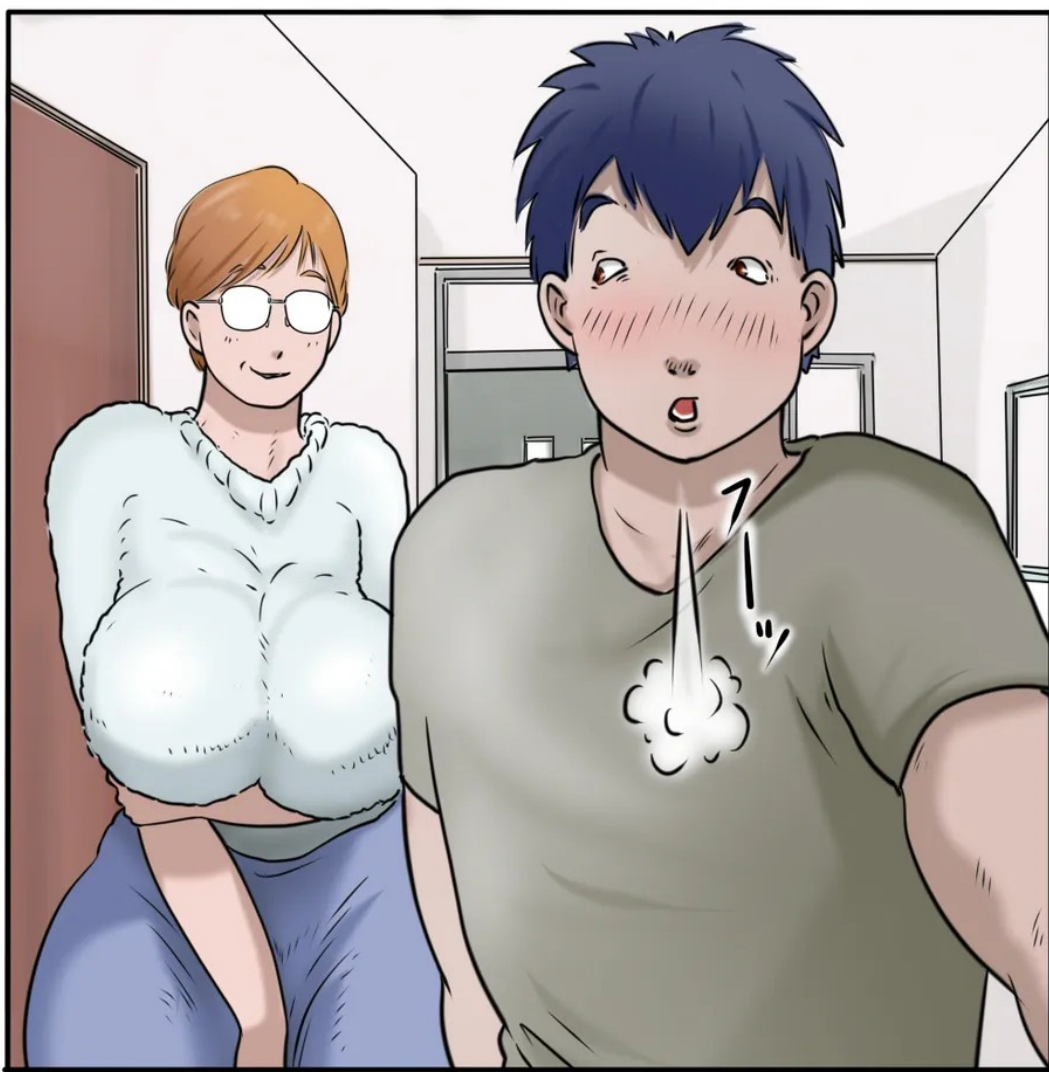
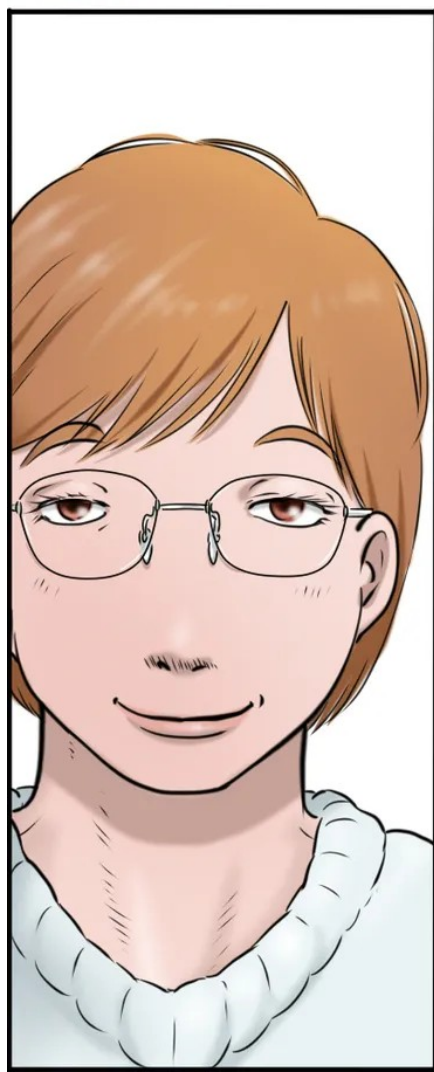
千夏の母です







さっ
遠慮しないで
上がって頂戴



あの日から...

ときどき
千夏ちゃんの家
に行くように
なった



千夏ちゃんには
悪いけど...



お邪魔
します

やっぱり
楽しみは...

いらっ
しゃーい



ママさんのおっぱい!

さっ
どーぞ

おっおーっ!
今日も良い乳してるぜ
この女ーっ!

あー
熱かったー

ママー
何か飲み物
お願いー



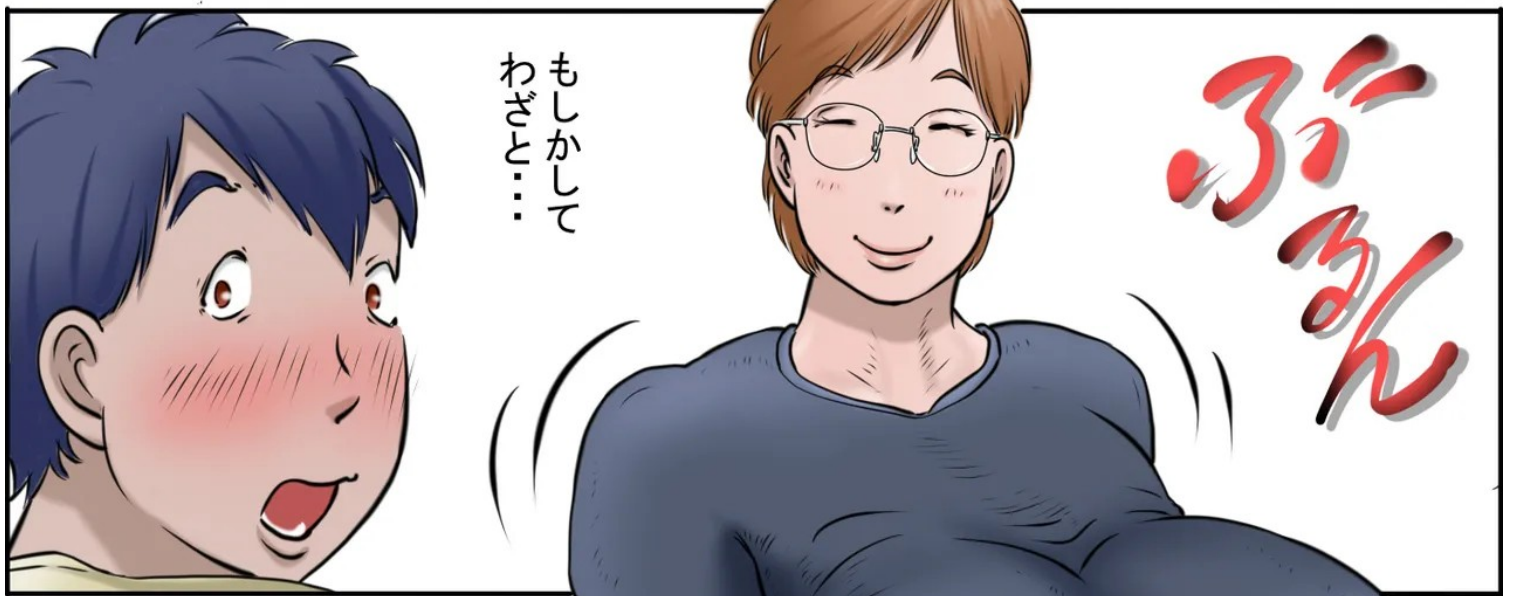


でも……

何回か来て
思うんだけど……

千夏ママって……

ちう



ぶっ乳

もしかして
わざと……



自分の乳を……



ぶっ乳

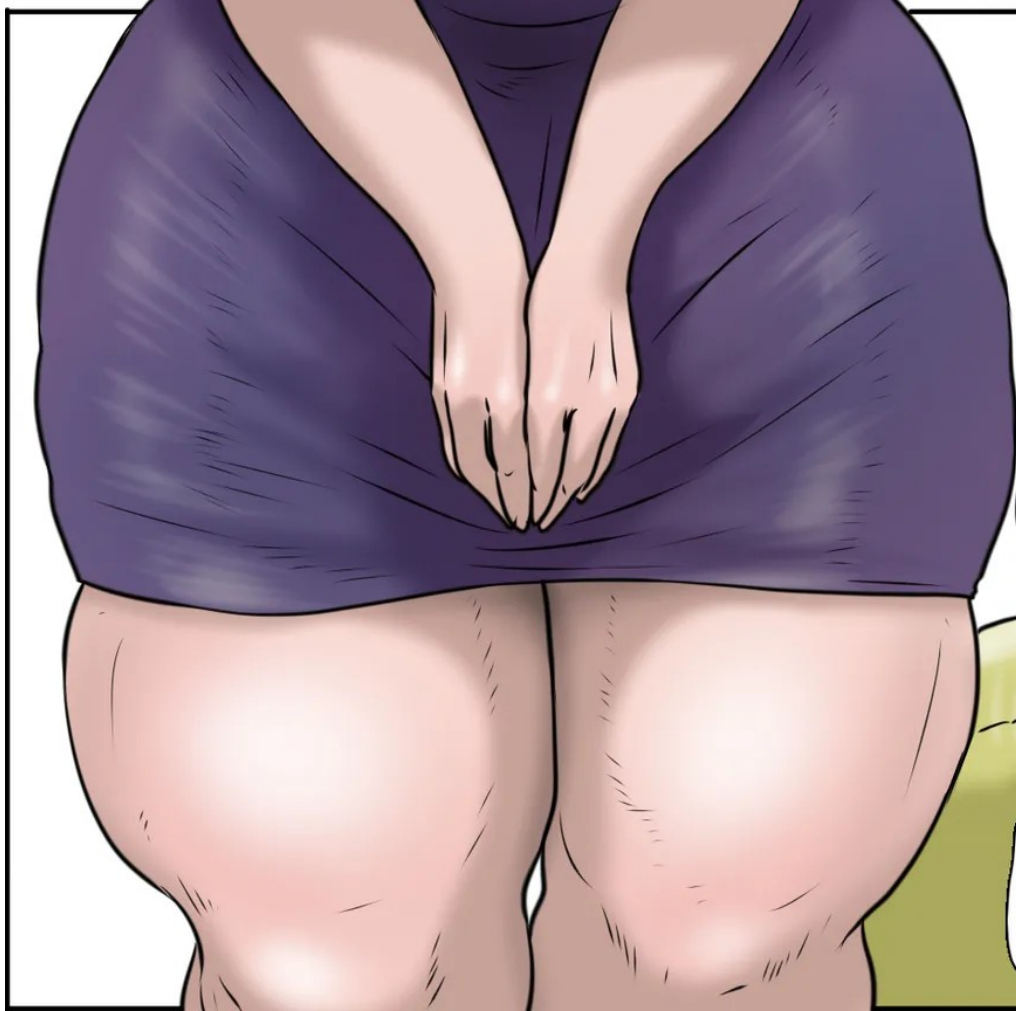
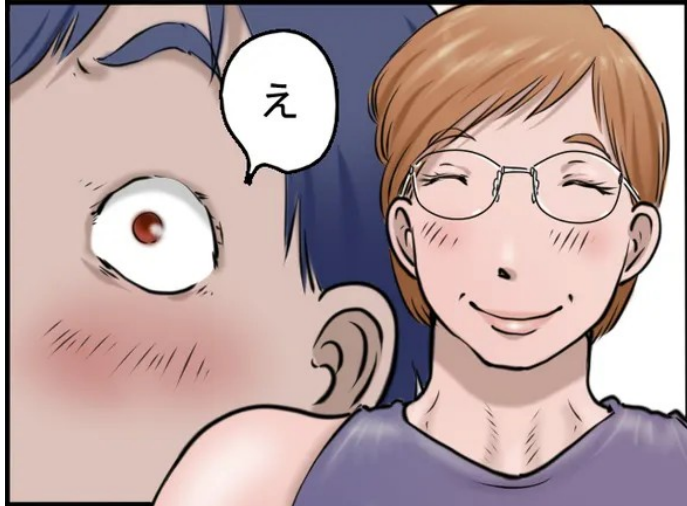
俺に……

見せつけて
いるんじゃないか！？

ズンズン

ズンズン



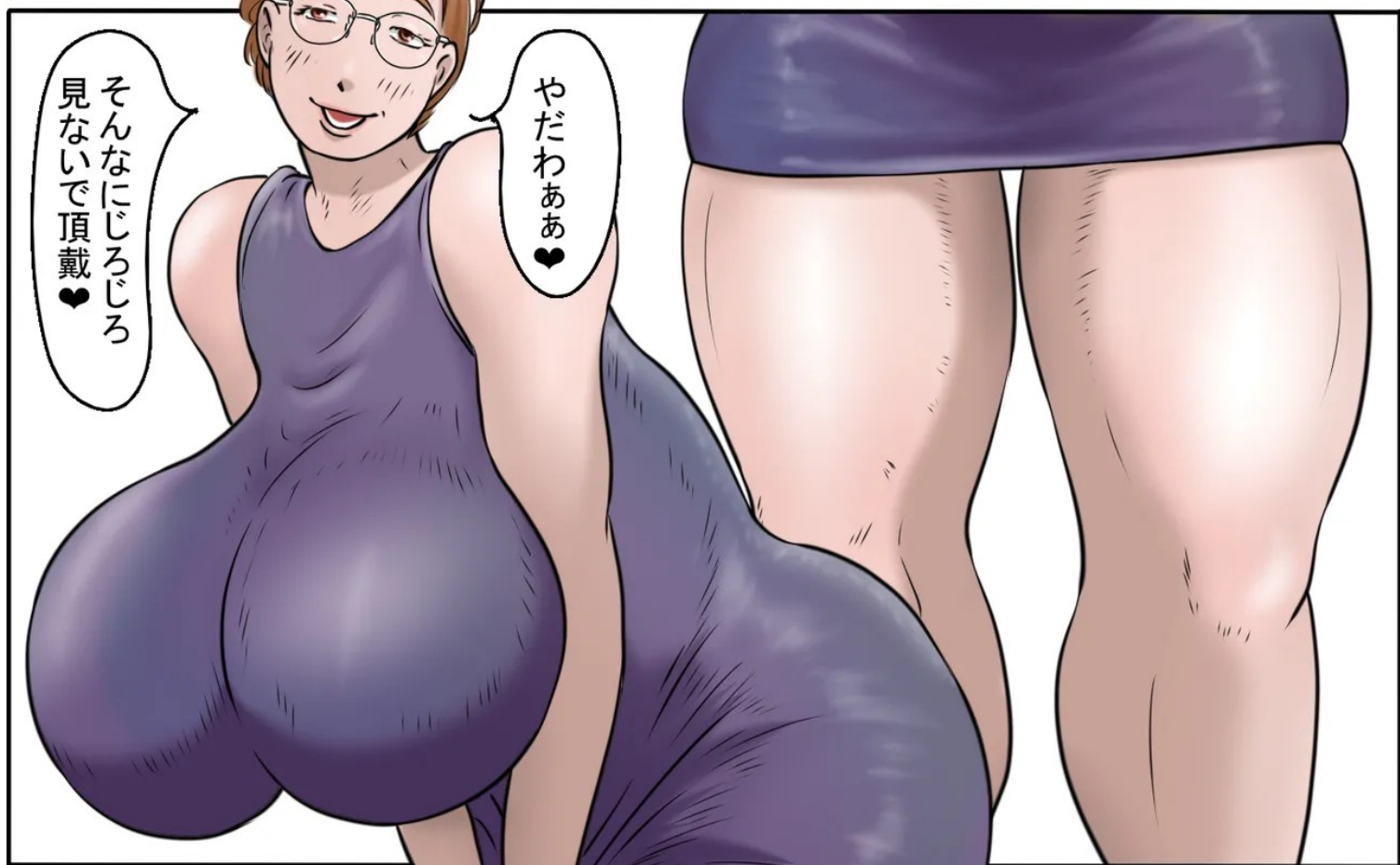




やっぱり
これは

間違いないっ

俺に
見せてるっ



やだわああ ♡

そんなにじろじろ
見ないで頂戴 ♡



ムチムチの
太もも……

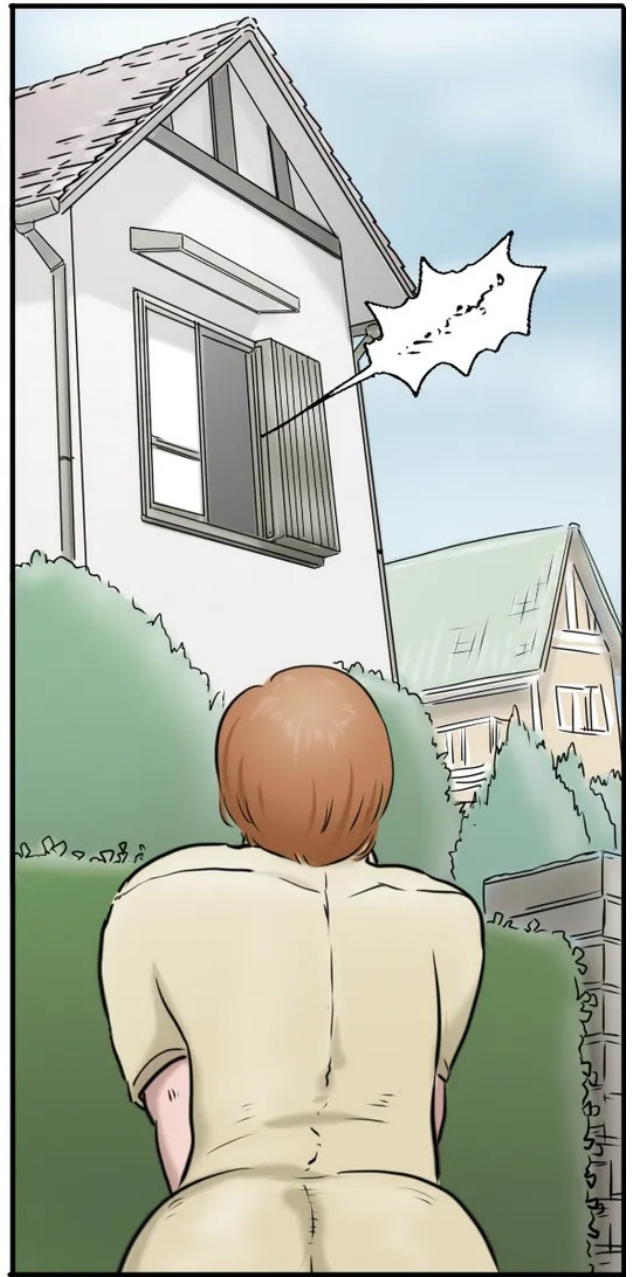
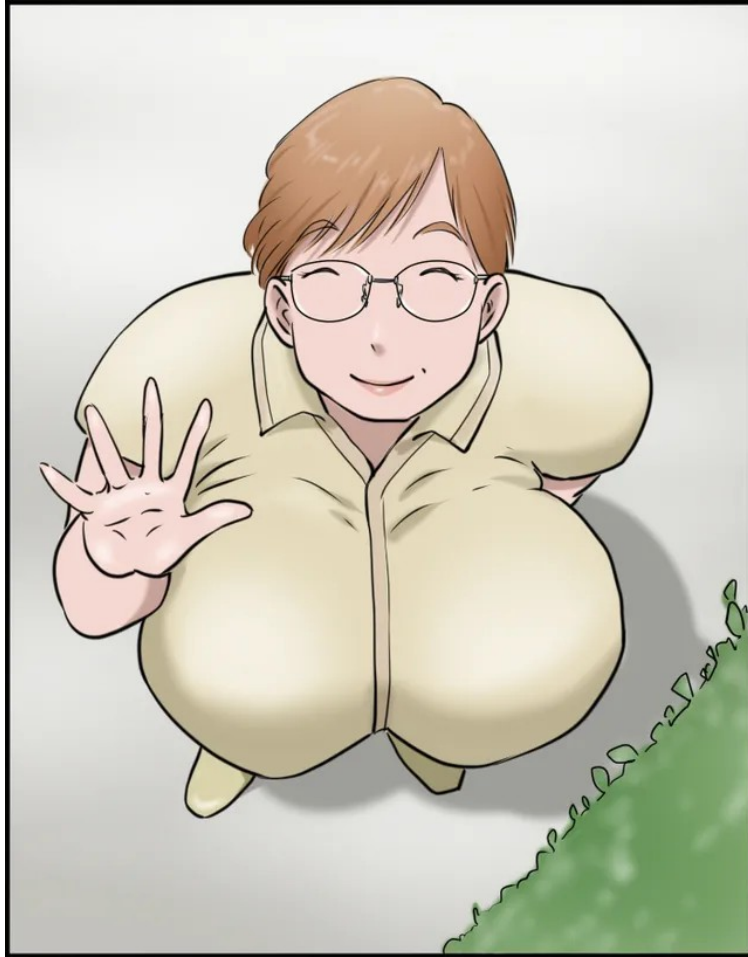
おっ俺を
誘惑してる!?

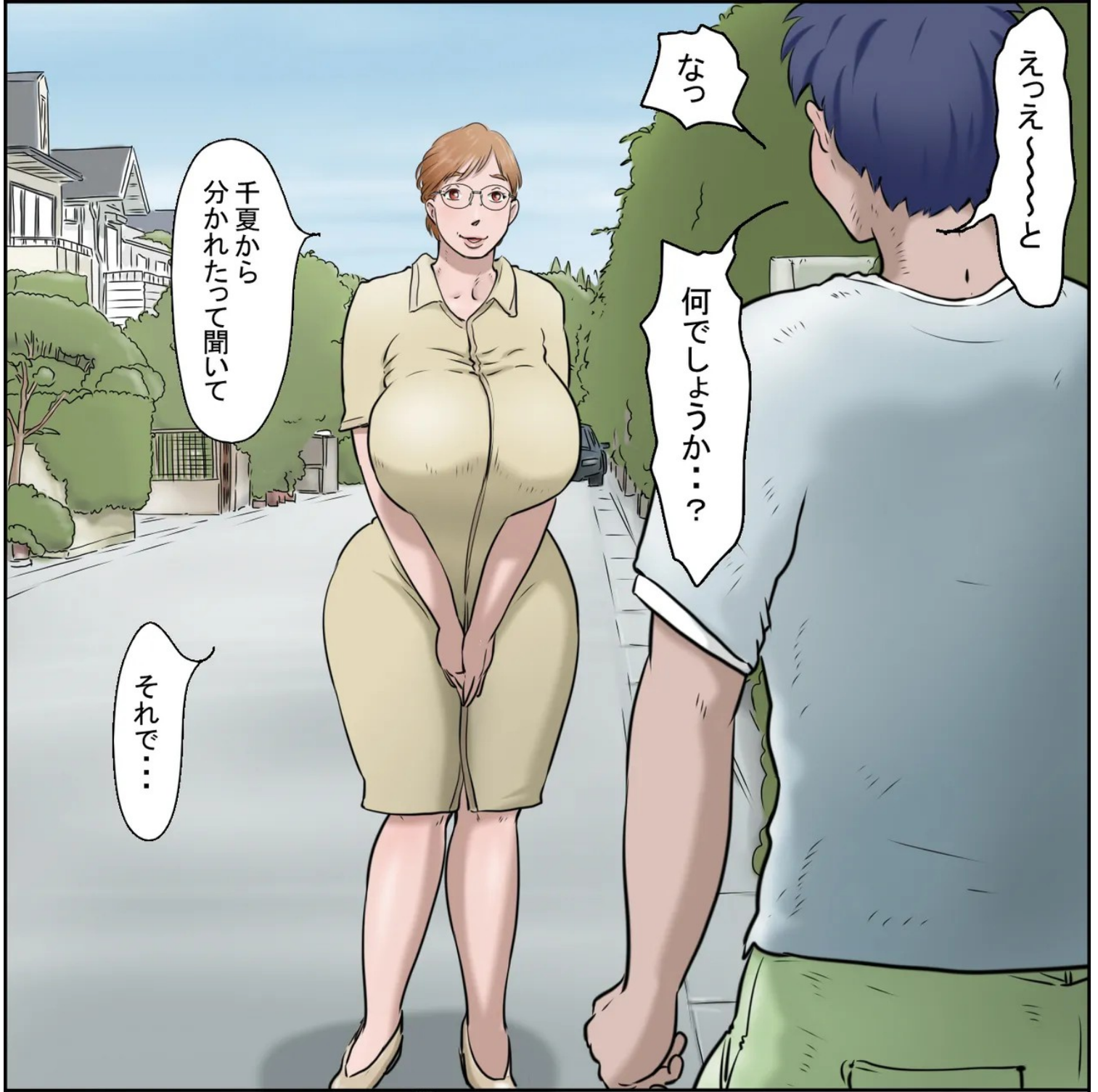
俺を：

誘ってる？









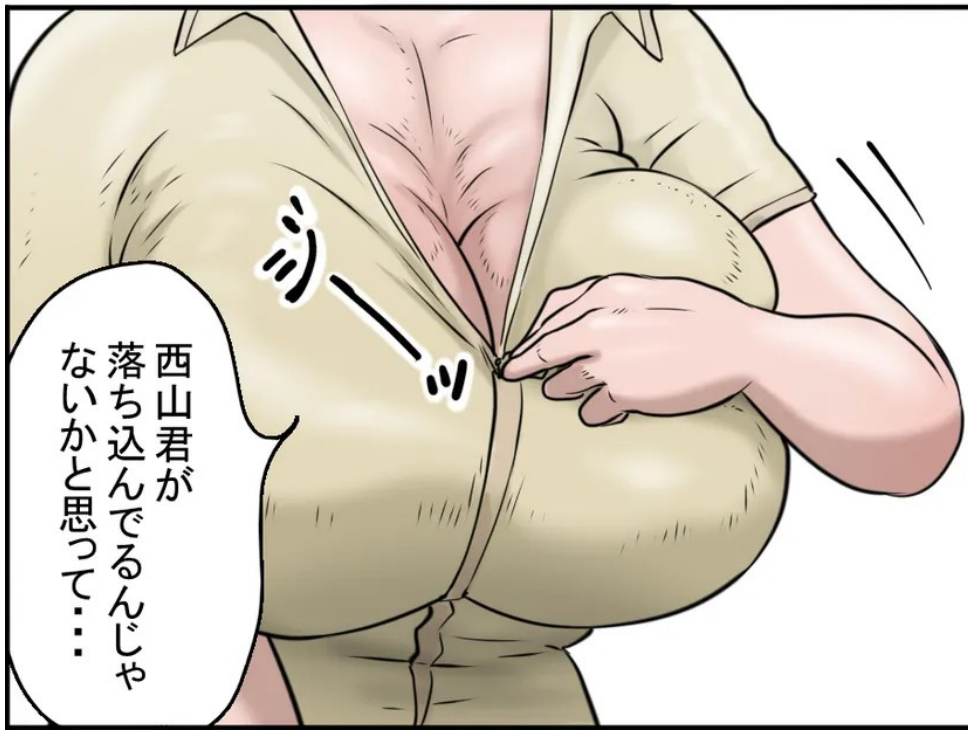
千夏から
分かれたって聞いて

それで……

なっ

えっえ〜と

何でしょうか……?



西山君が
落ち込んでるんじや
ないかと思って……



ああ

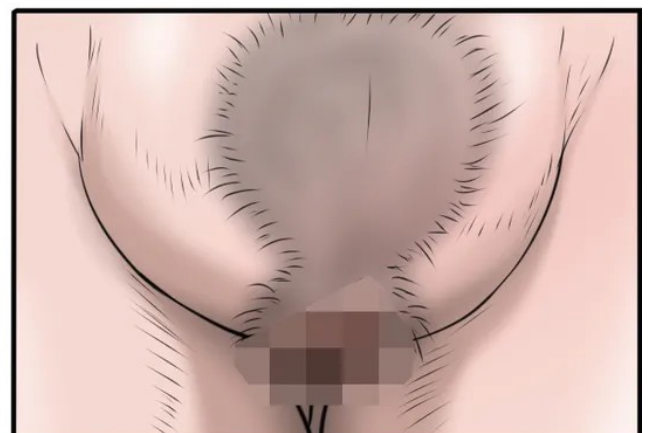
え


……それで……??

もしかしたら
私が……

慰められる
かもしれない
って思ってる……

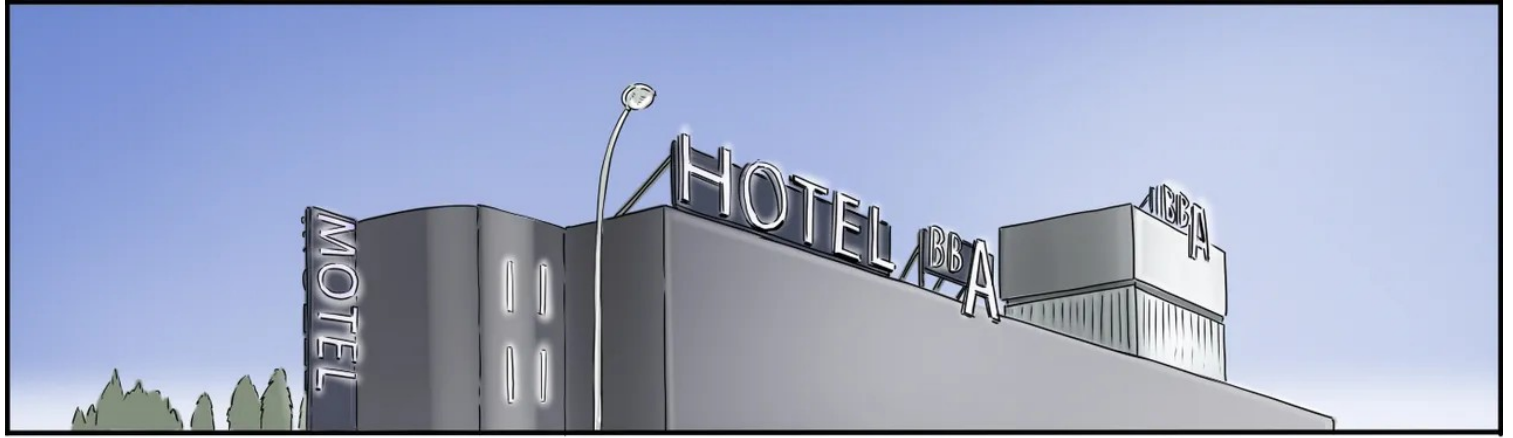




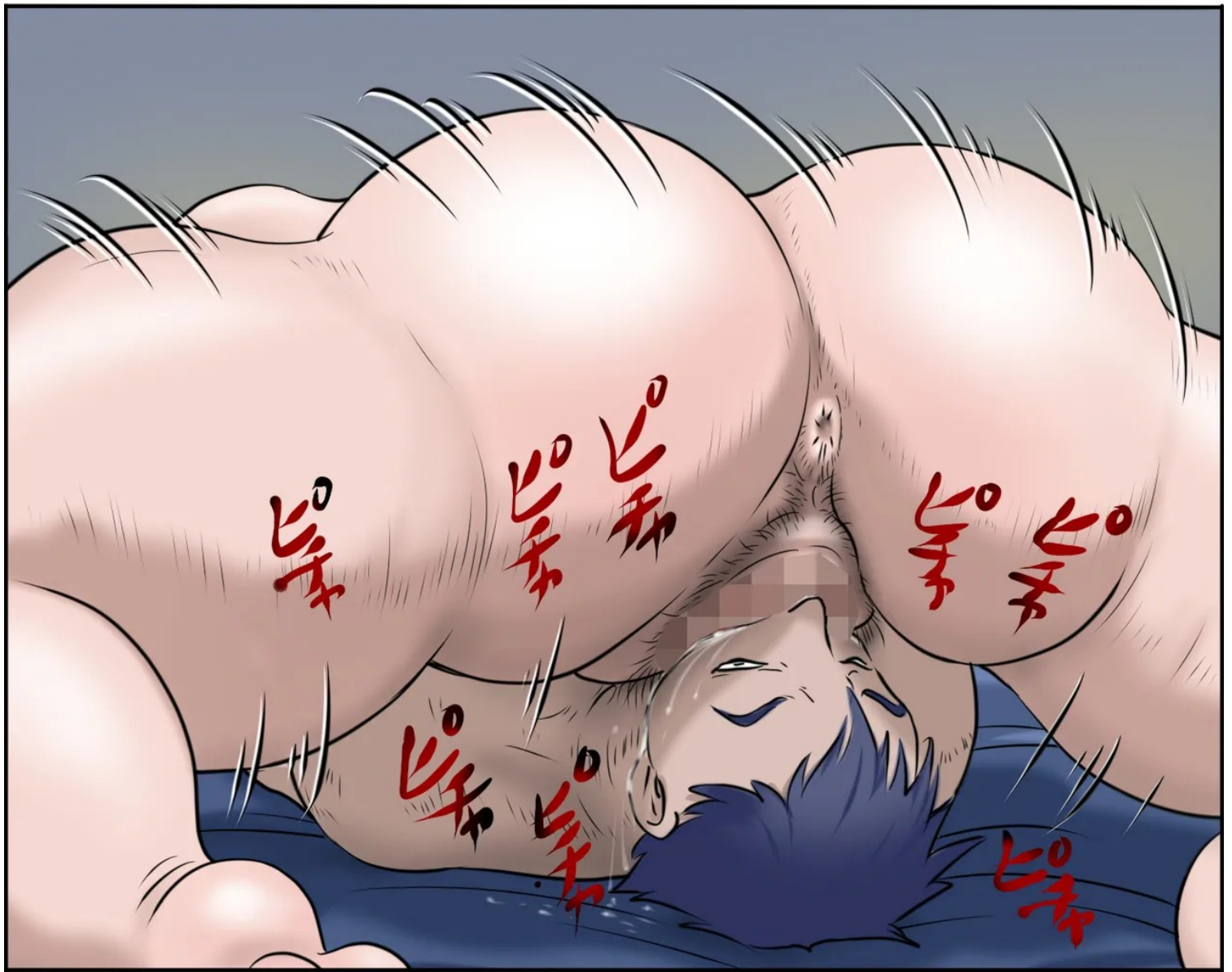
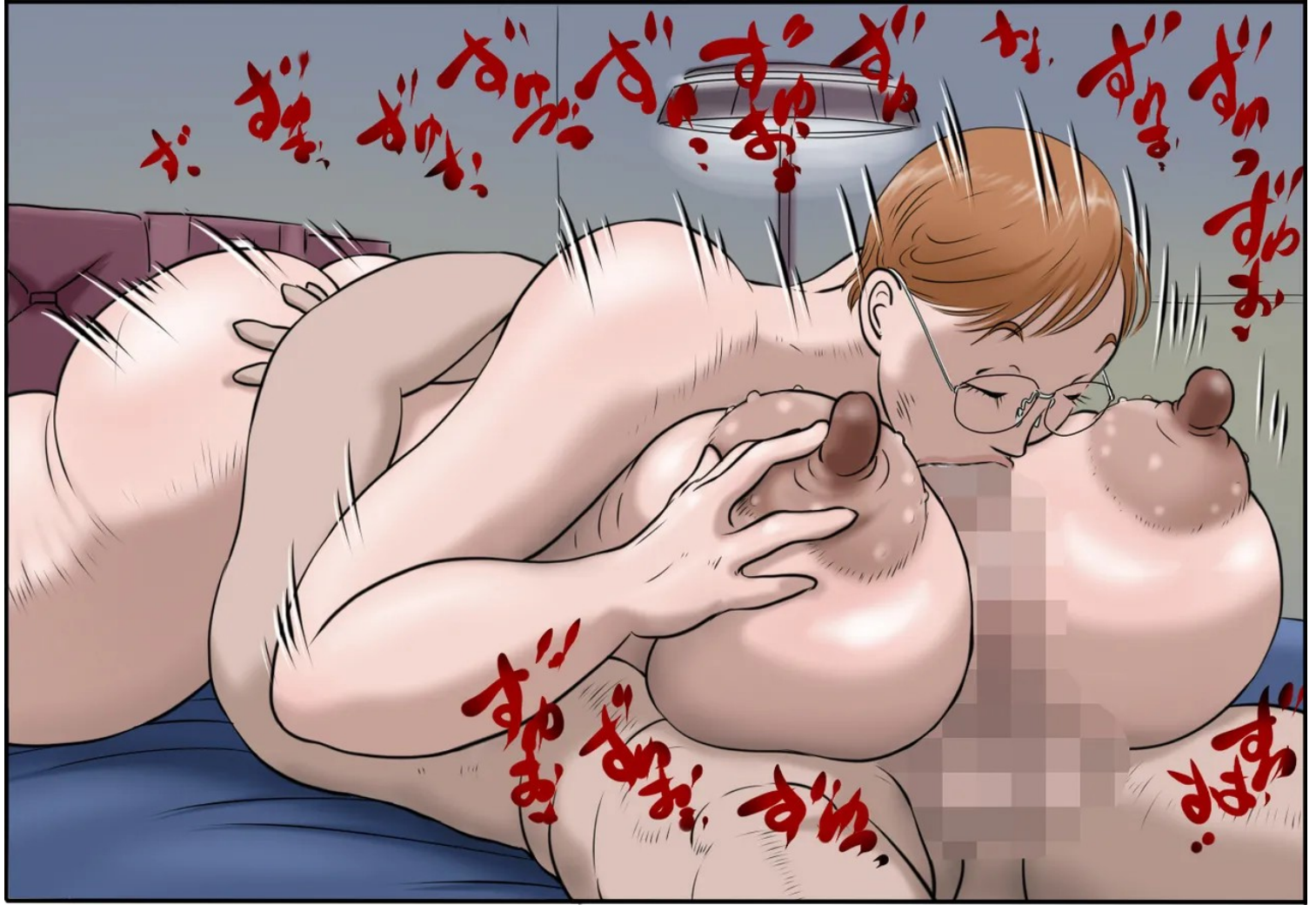


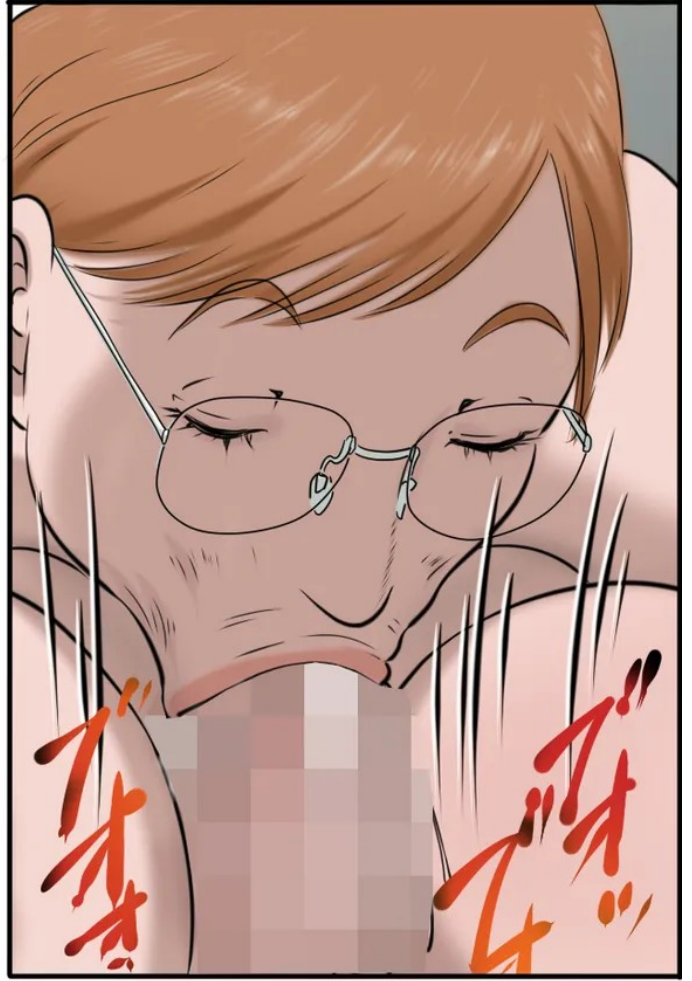
おばさんが
この体で……

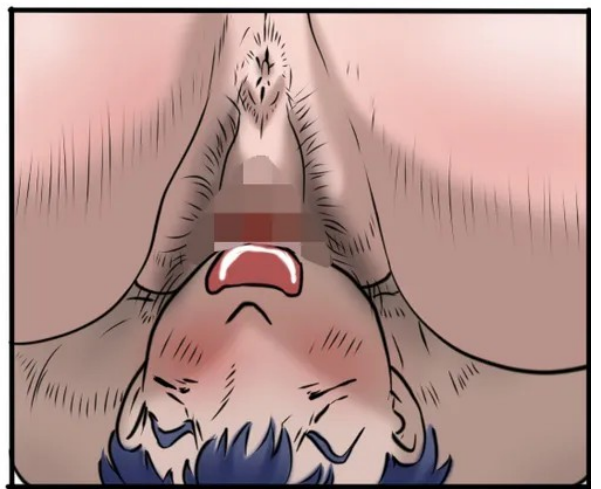
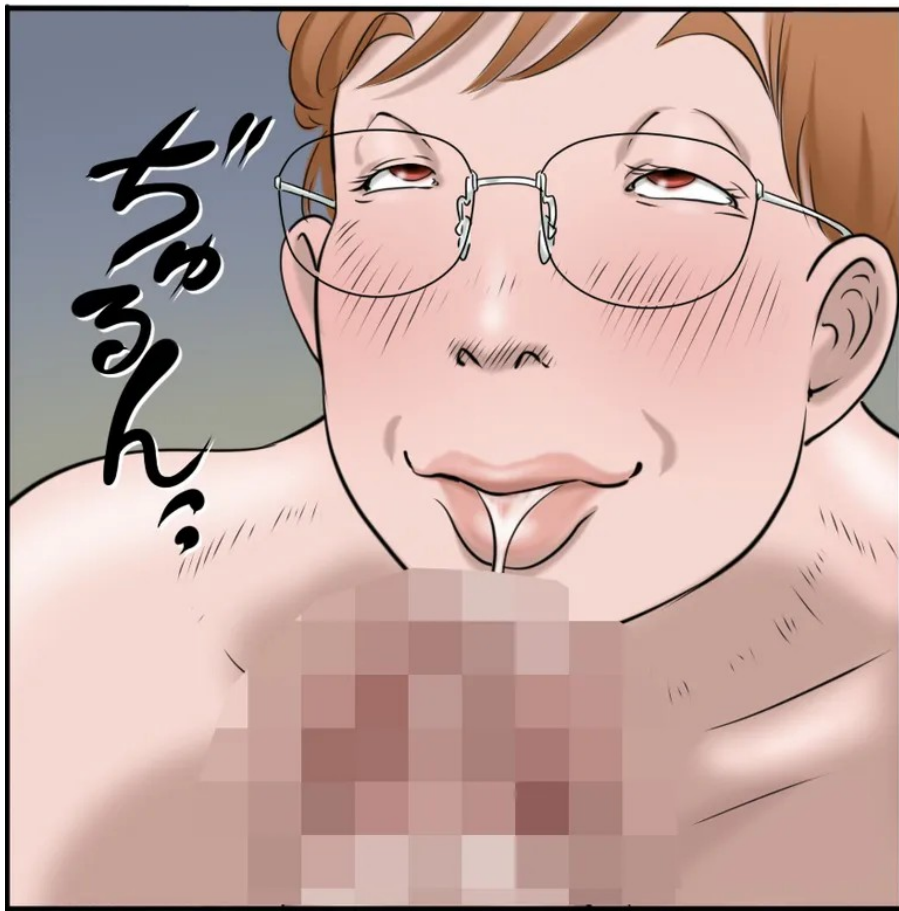
たつぷり
慰めて
あげる……

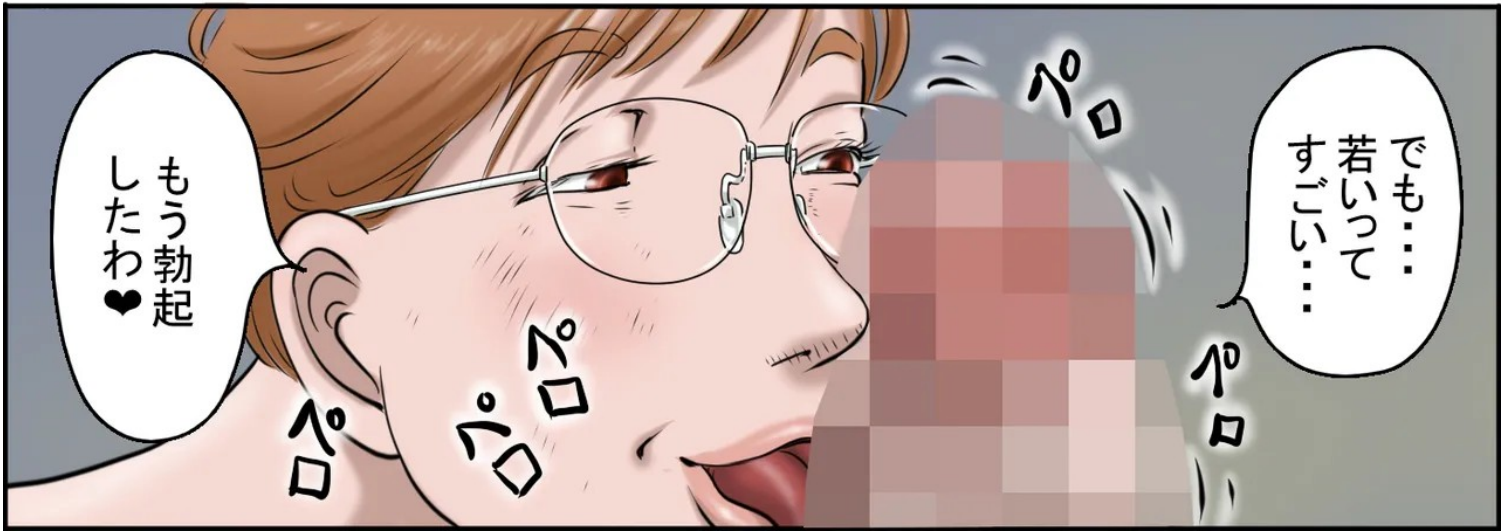
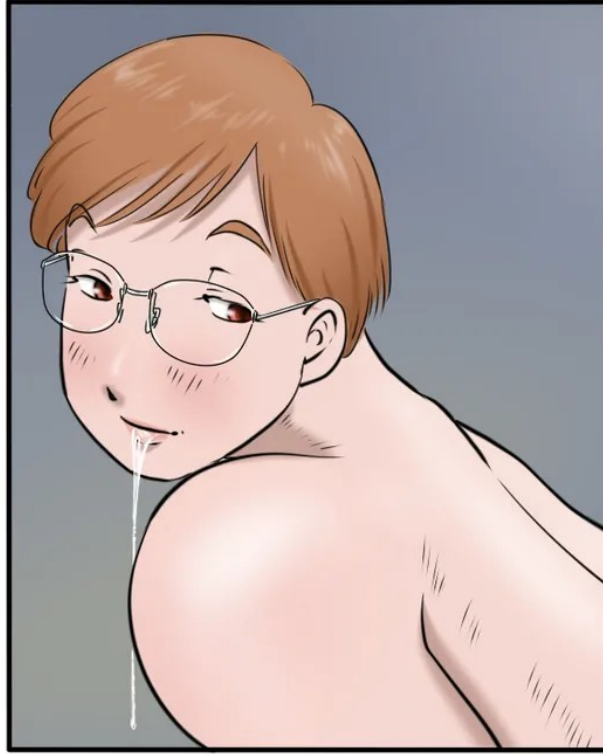




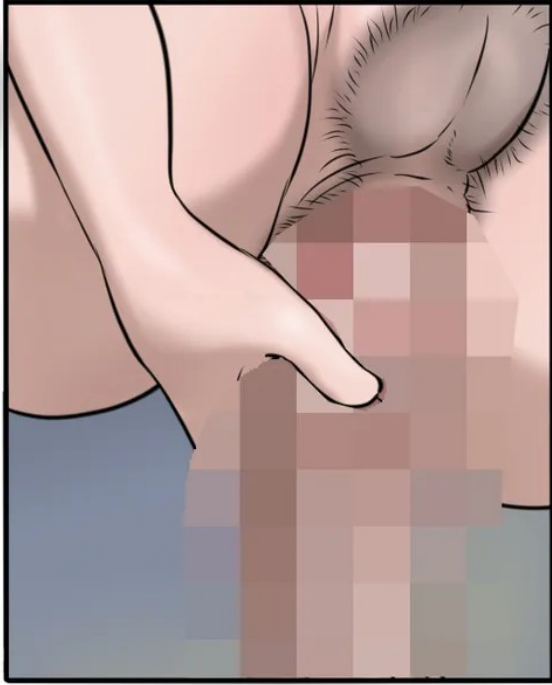
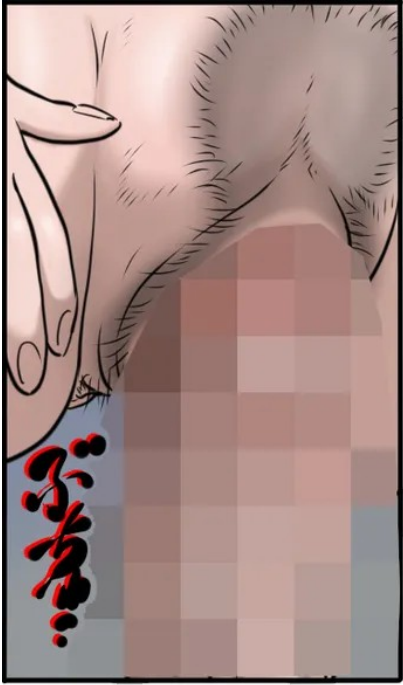


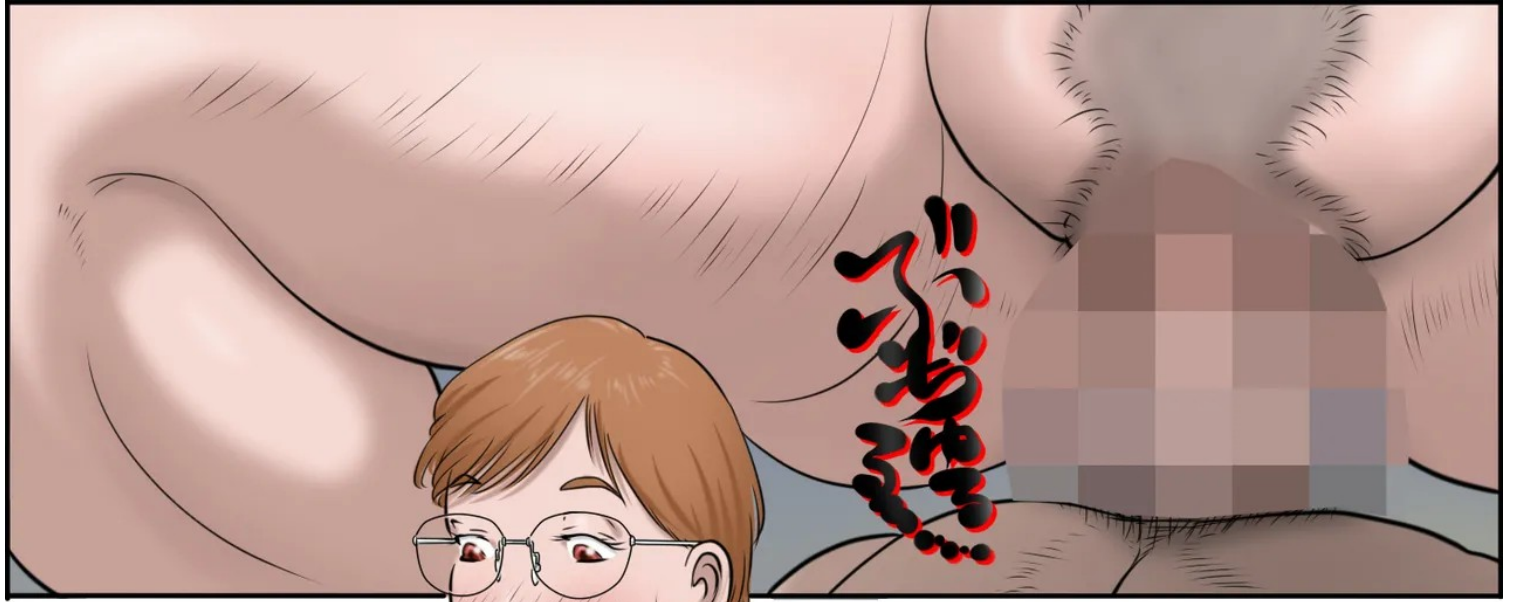










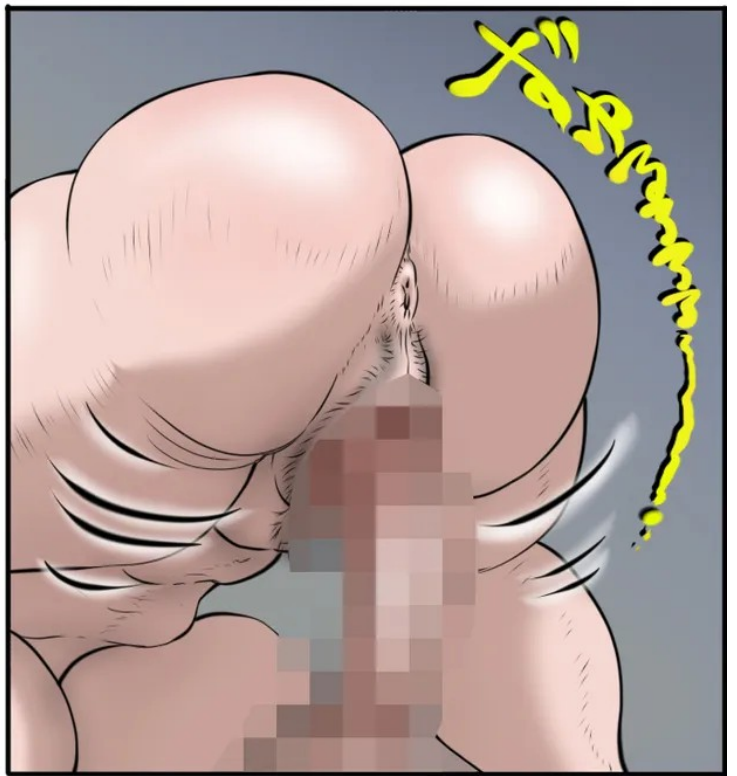




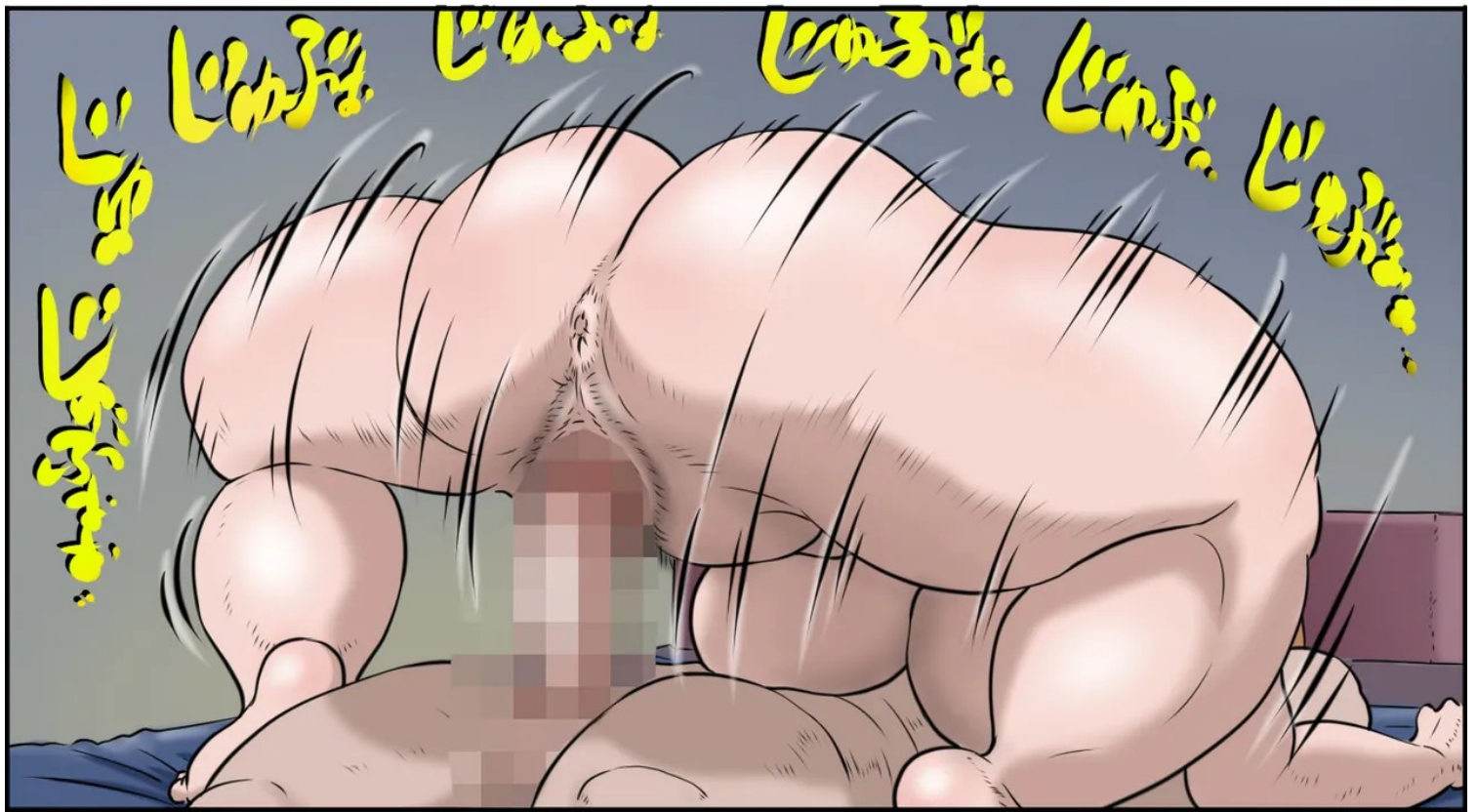
それじゃ
ちよつと動くわね



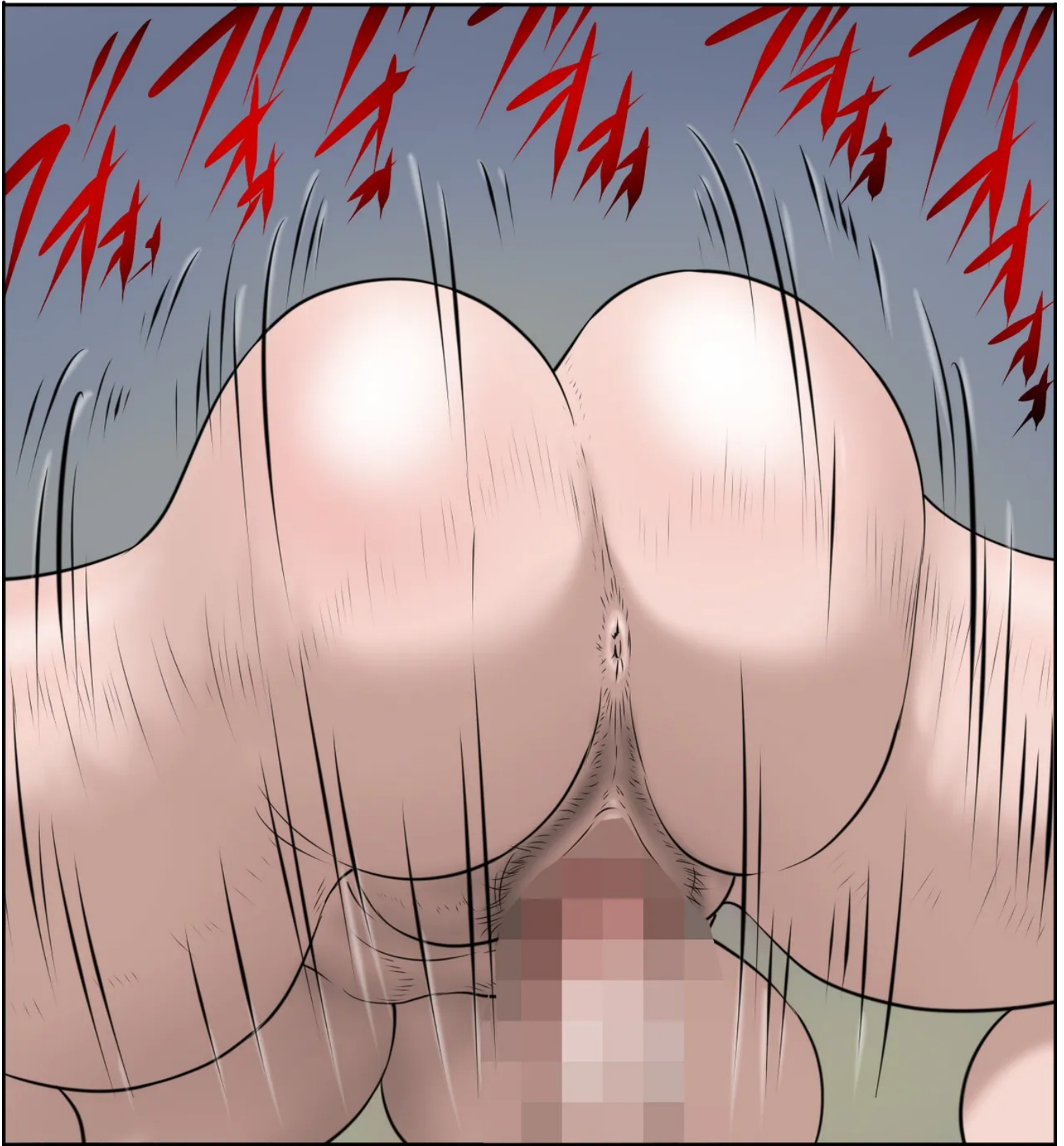
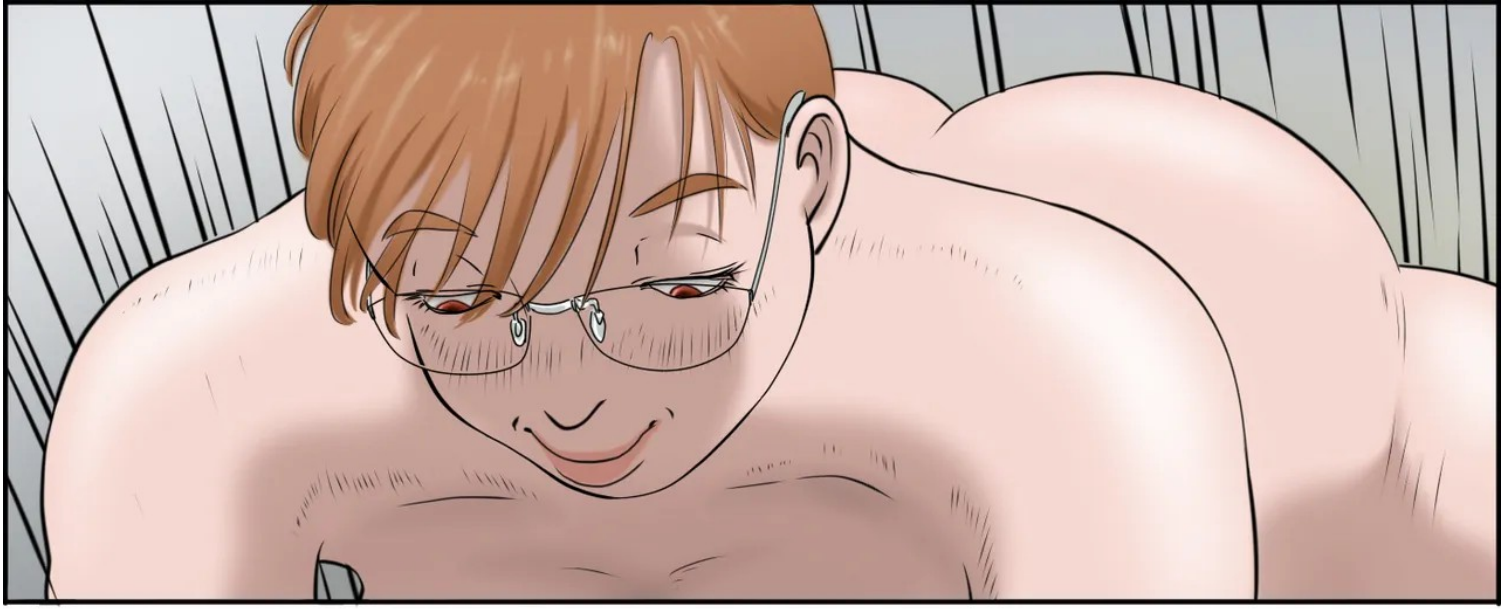
がががががががががが

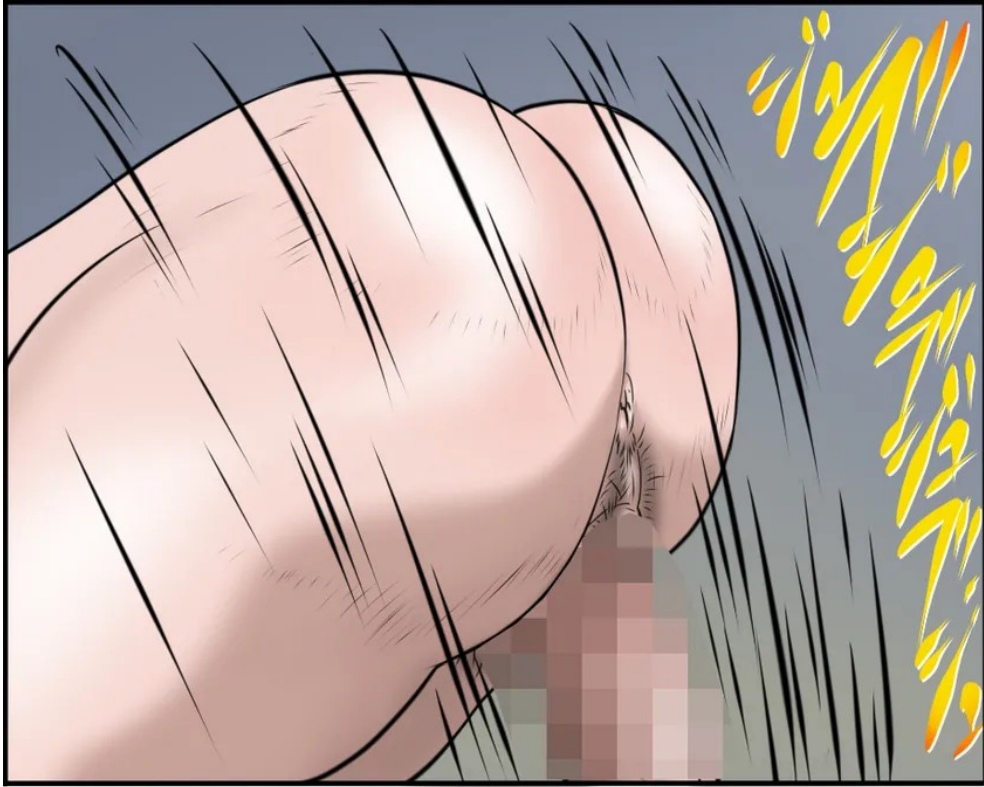


がががががががががが



がががががががががが
がががががががががが
がががががががががが
がががががががががが





おおおお

うおおっ

おおおおっ



どう?
西山君

気持ちいい?

おばさんの中
気持ちいい?

おお

おおお

んんん

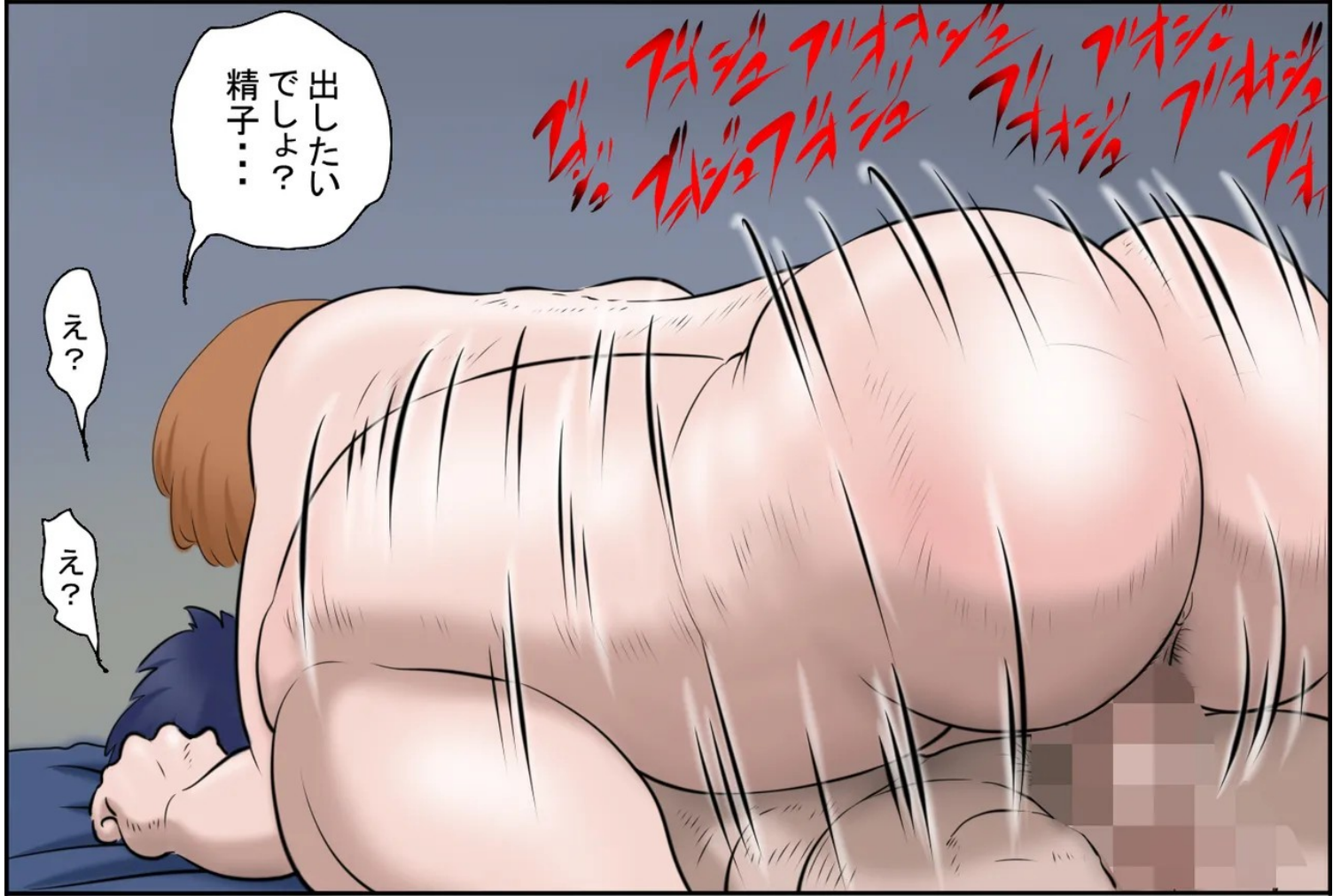
んんん

うおおっ
ちよっいいい



出したい?

中に

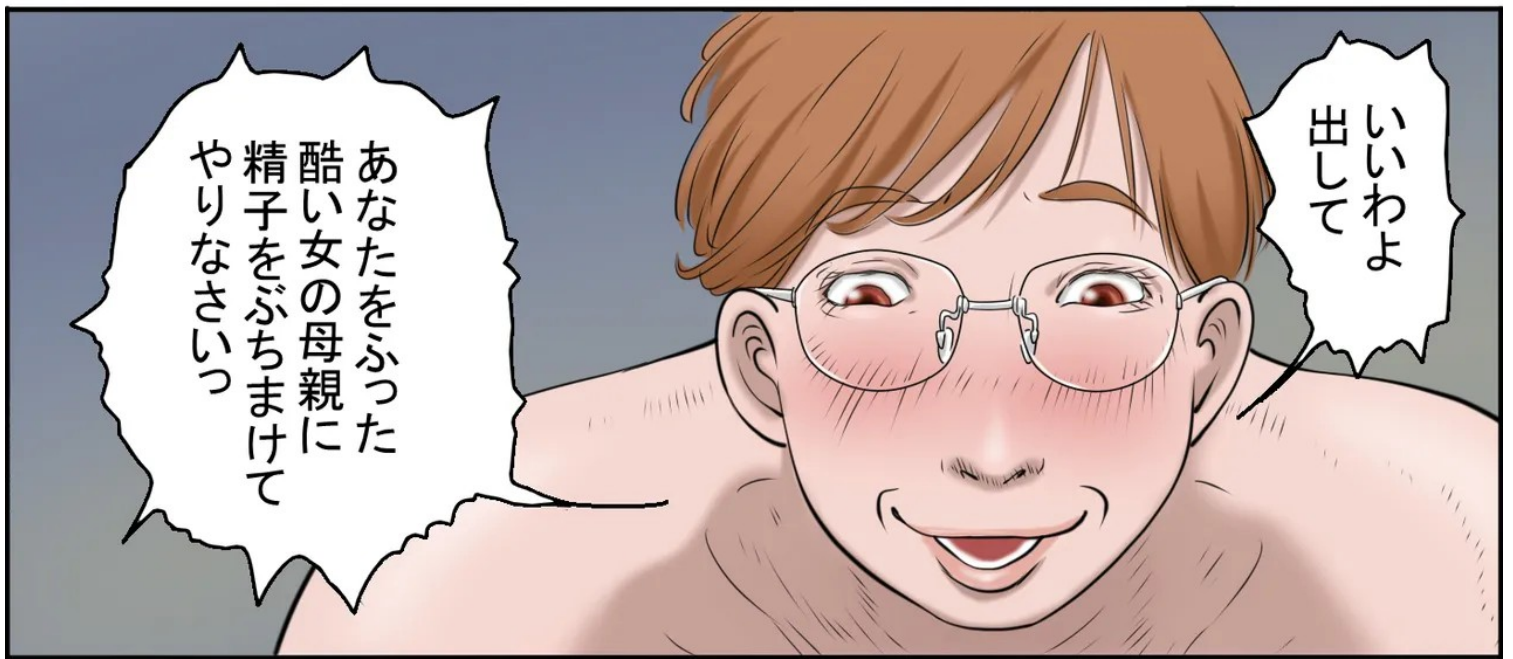


出したい
でしょ？
精子…

アッ アッ アッ アッ アッ
アッ アッ アッ アッ

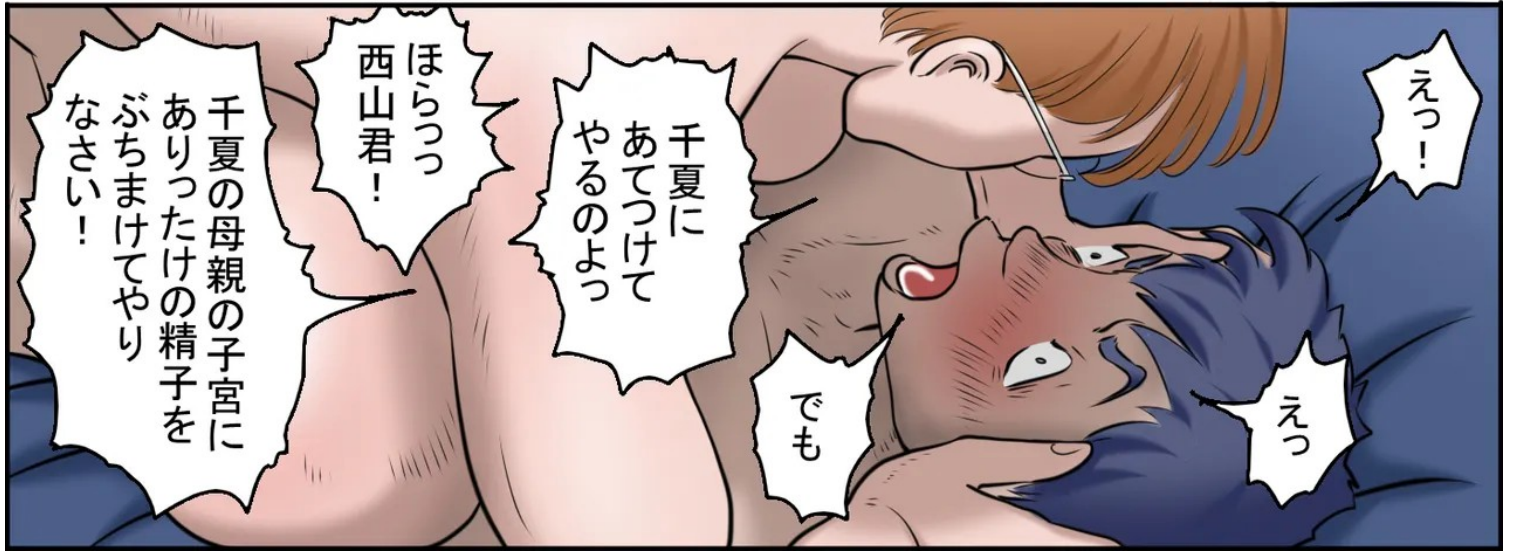
え？

え？



いいわよ
出して

あなたをふった
酷い女の母親に
精子をぶちまけて
やりなさいっ



えっ！

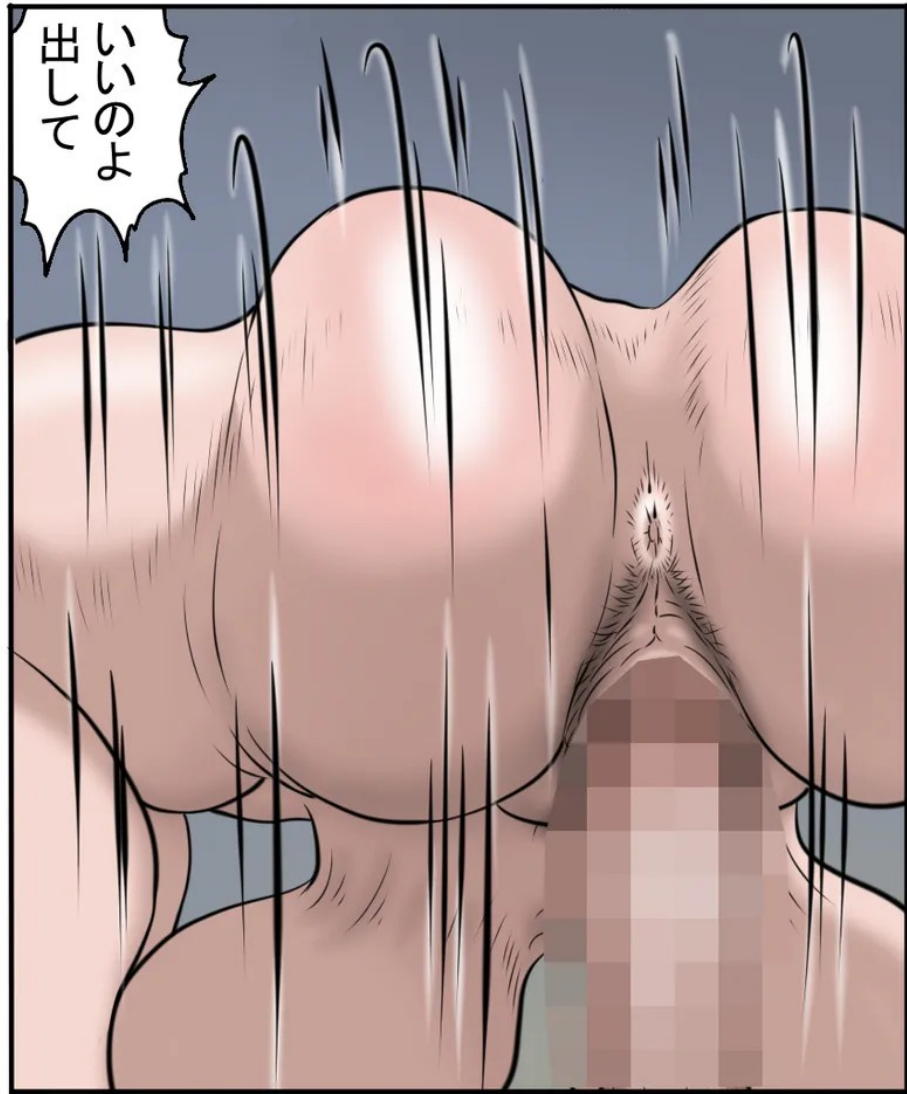
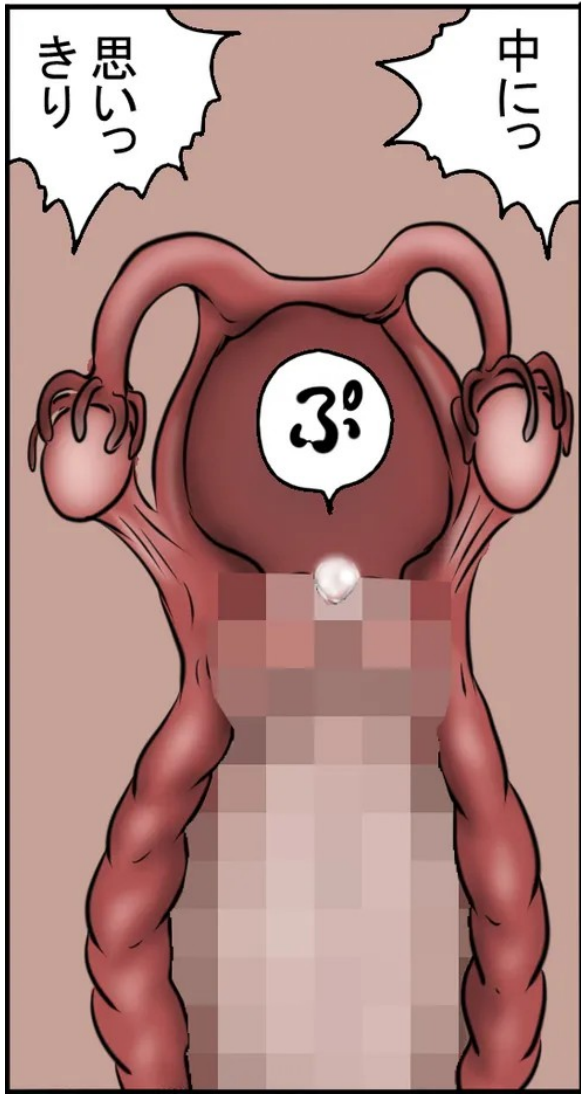
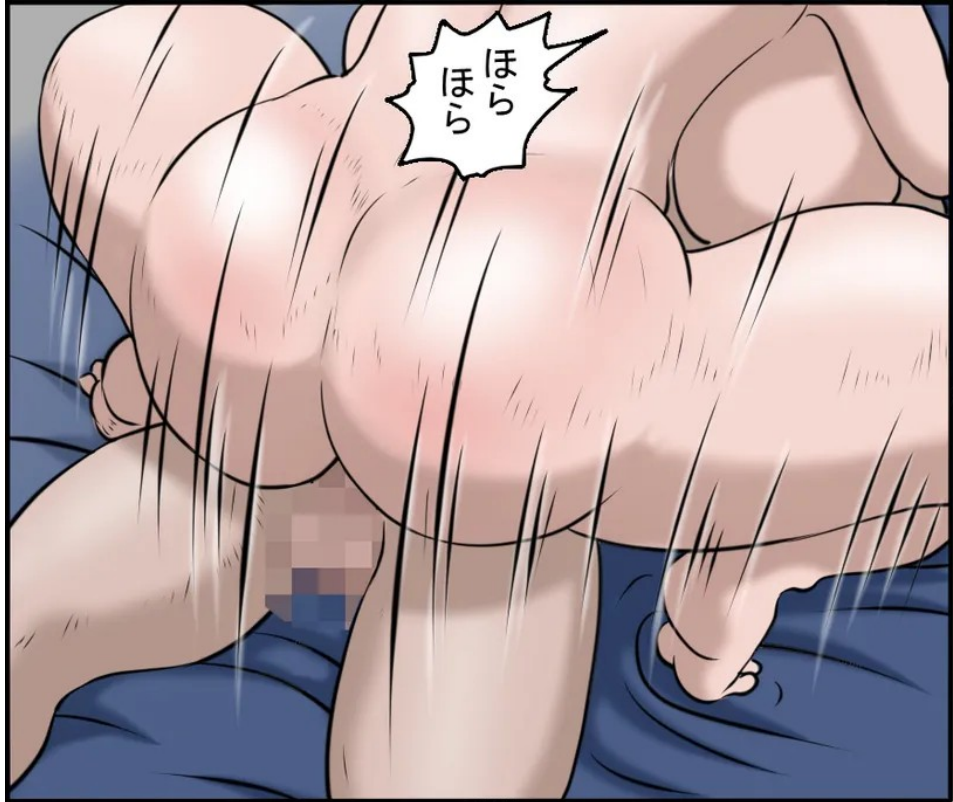
千夏に
あてつけて
やるのよっ

ほらっつ
西山君！

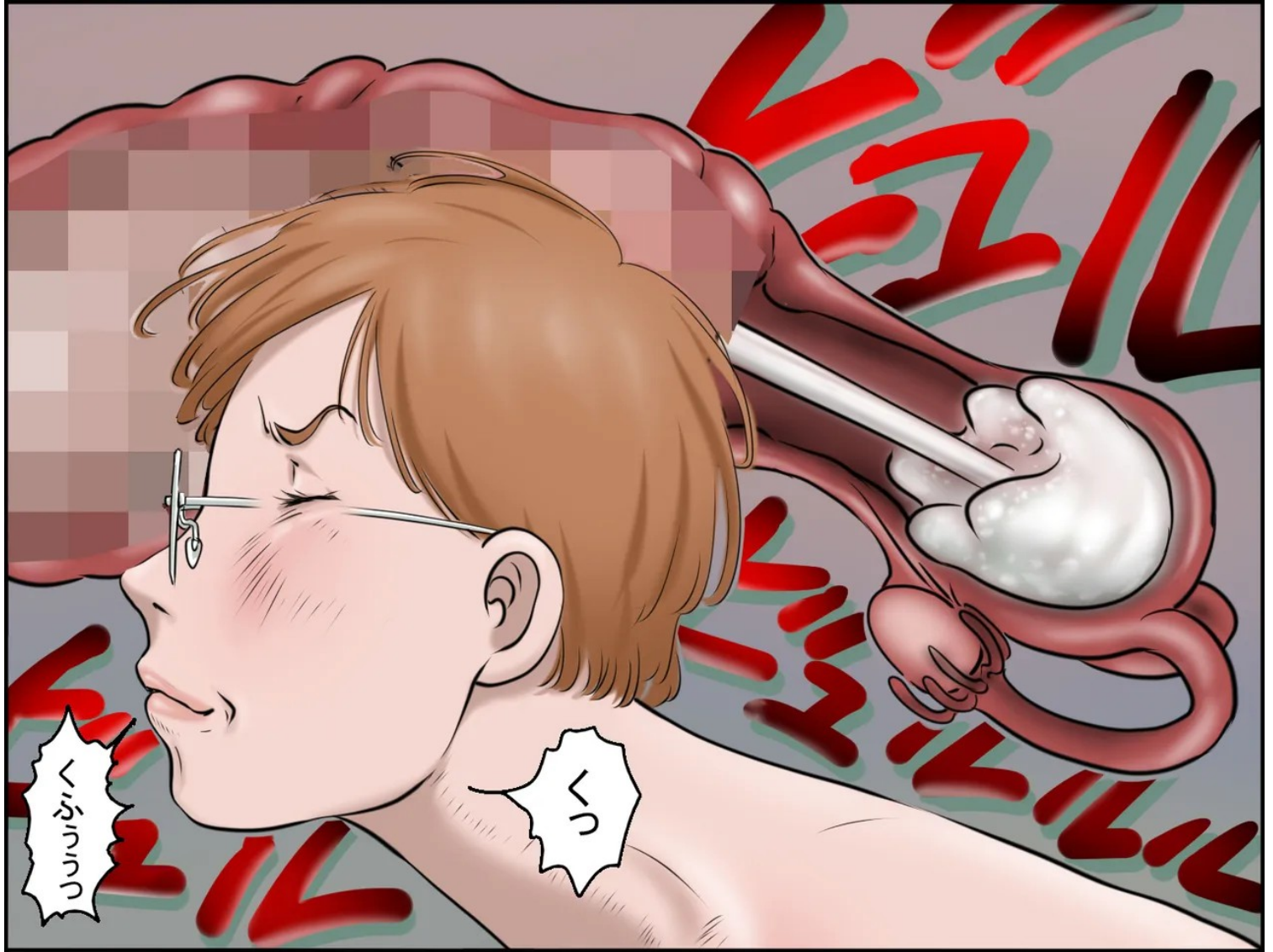
千夏の母親の子宮に
ありったけの精子を
ぶちまけてやり
なさい！

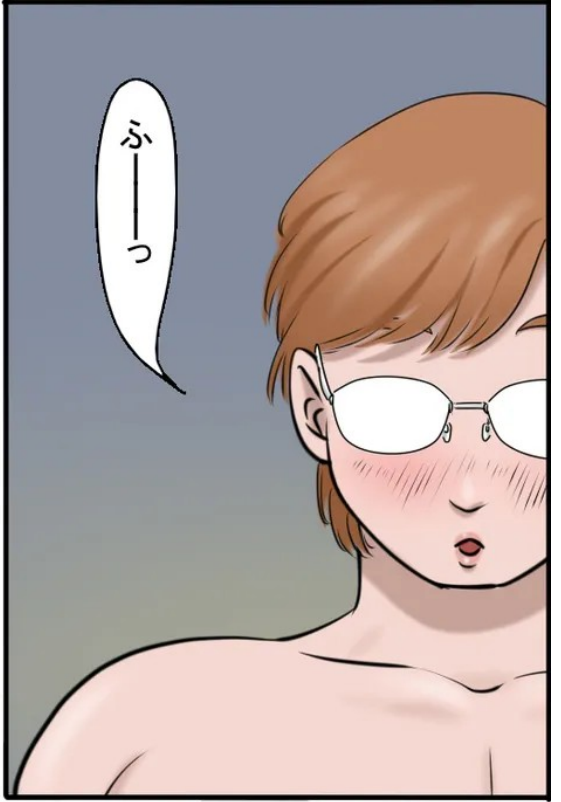
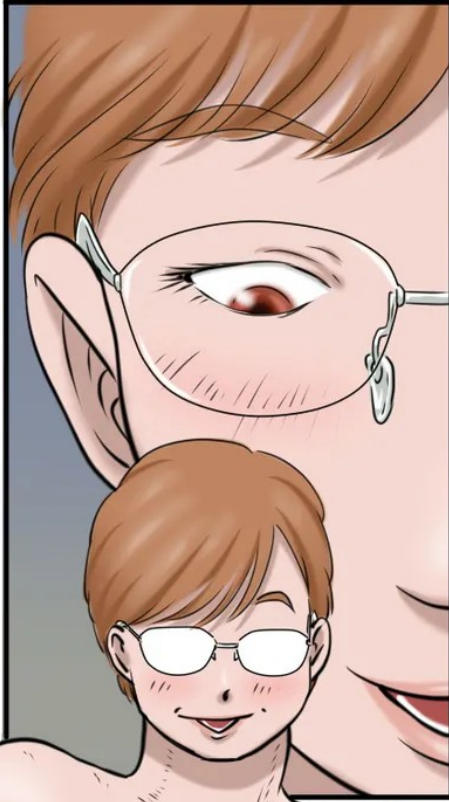
でも

えっ



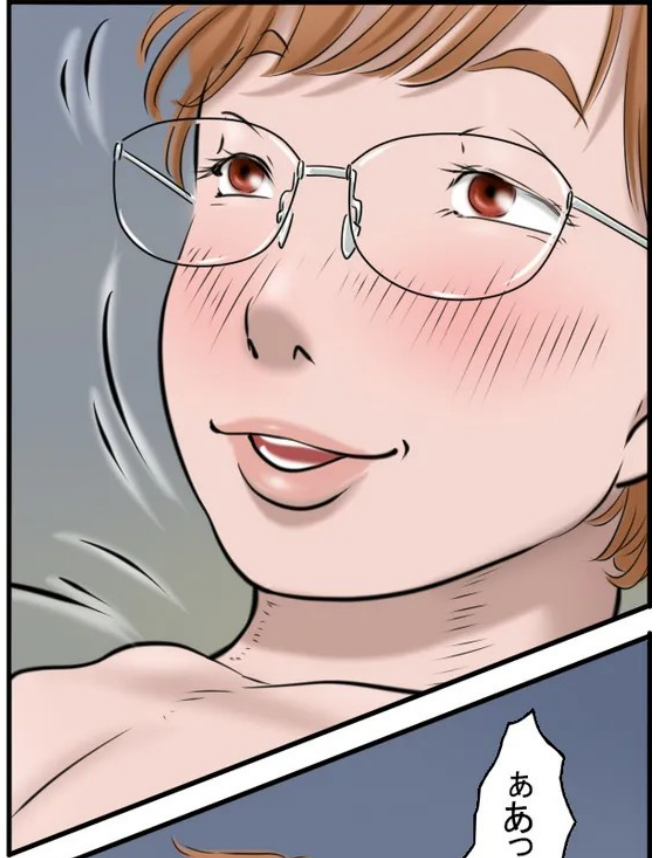
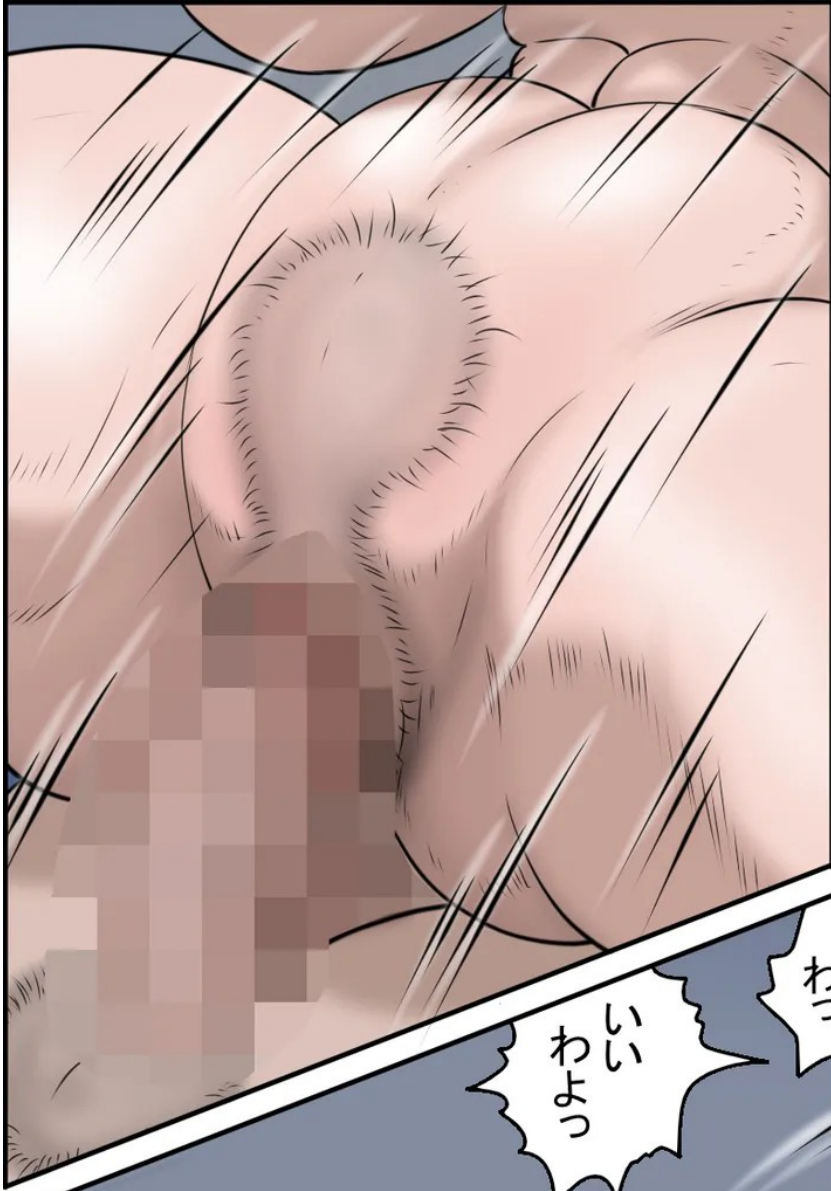






若いんだから

まだするでしょ？



わい
わよ

わい
わ

あつ

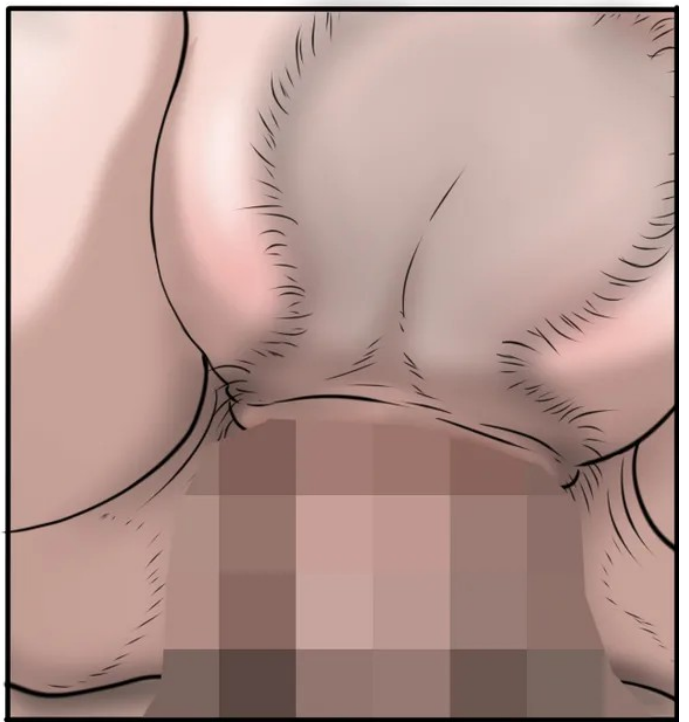
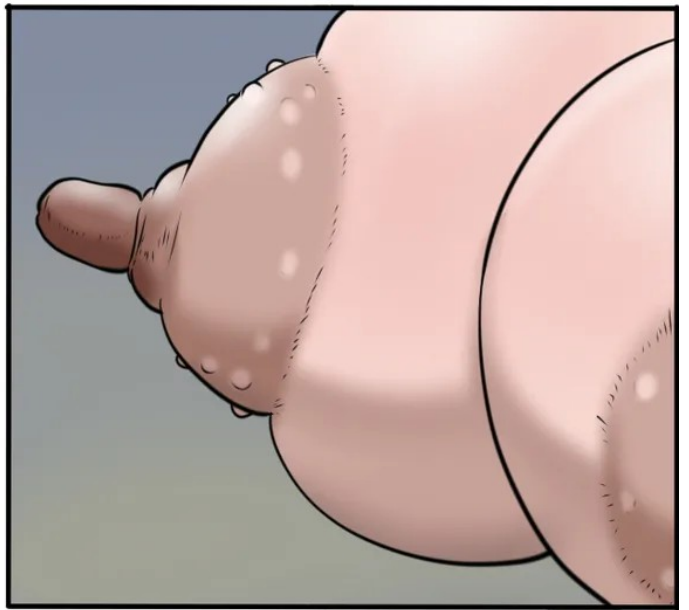
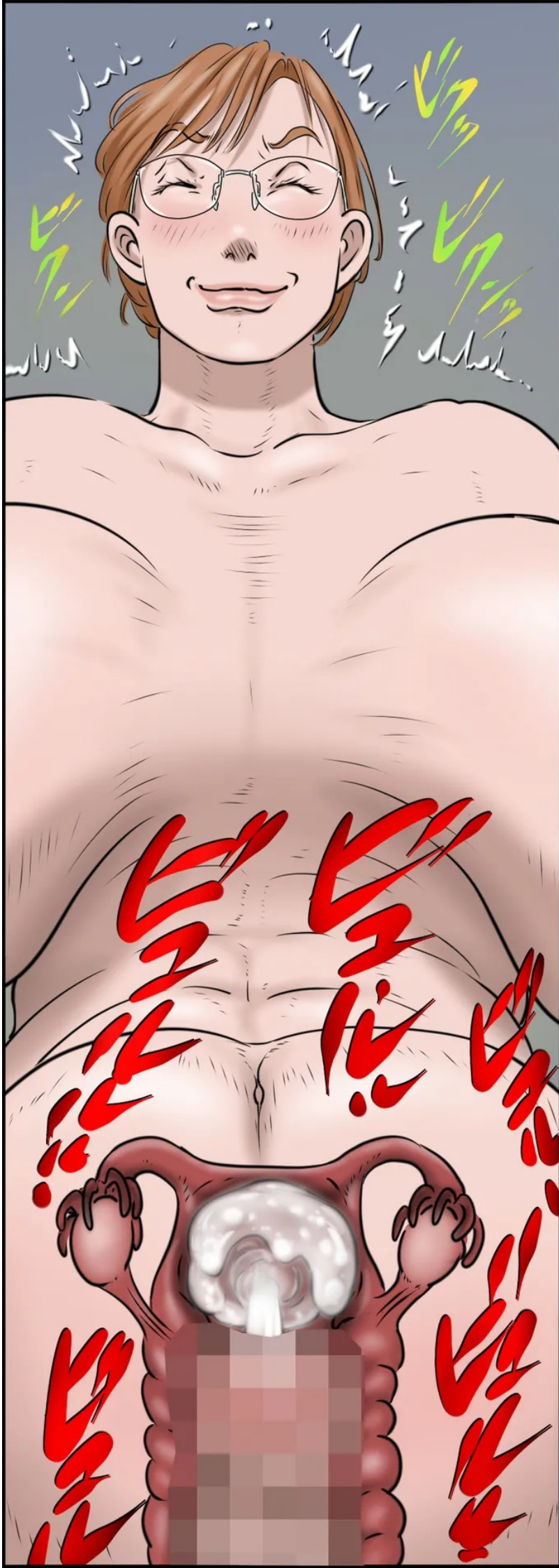
あつ

あつ
あつ
あつ

あつ
あつ
あつ

あつ
あつ

あつ
あつ



あの日から...

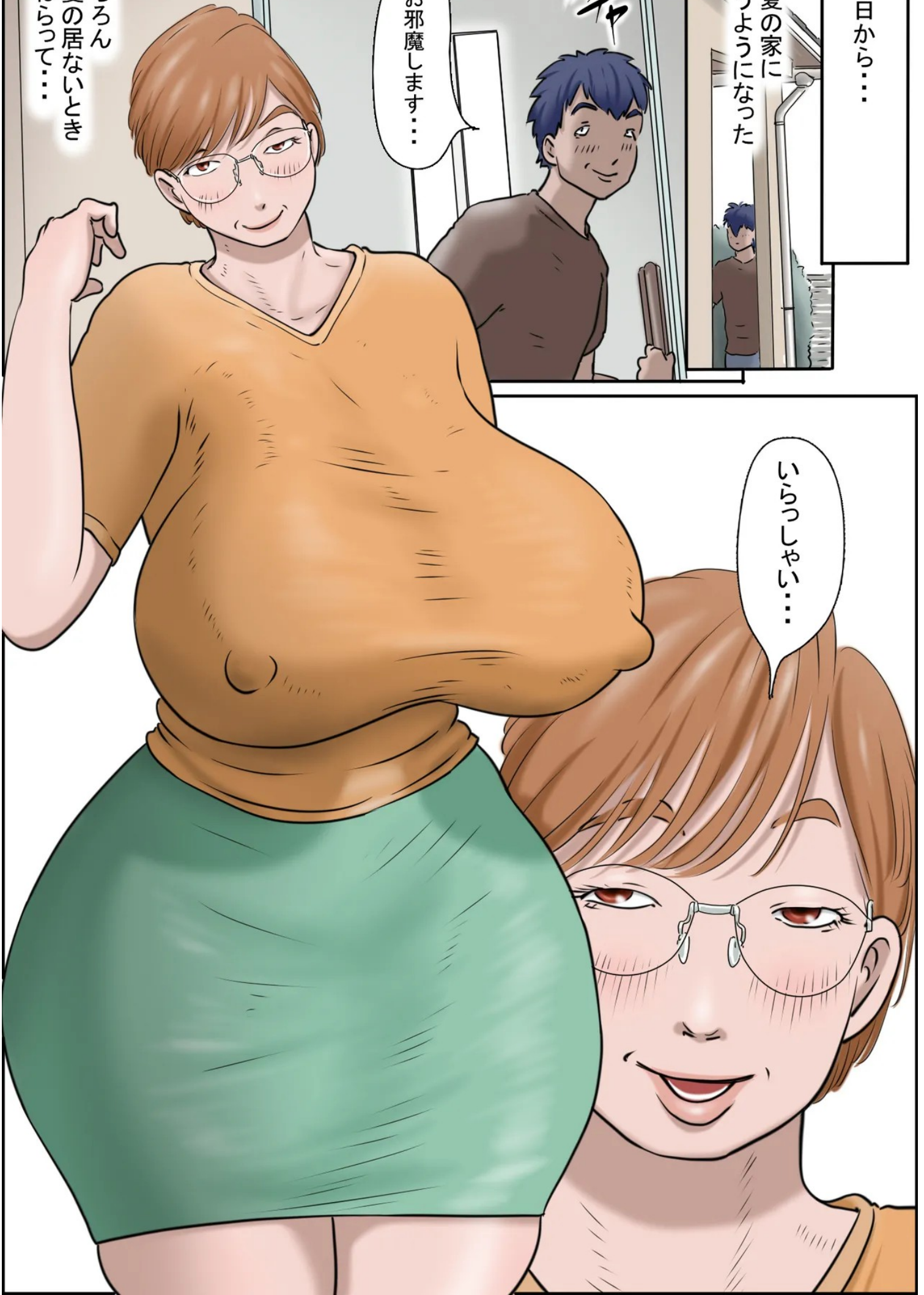
千夏の家に通うようになった

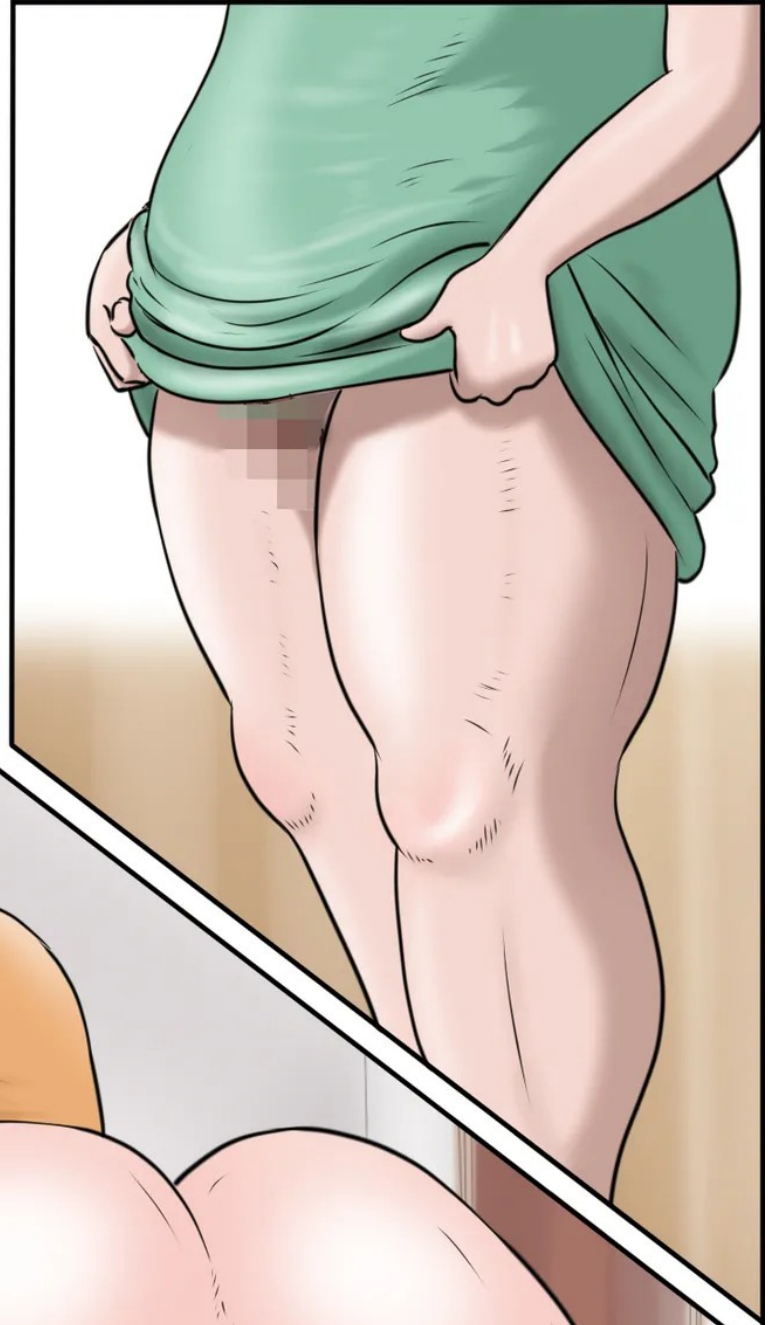
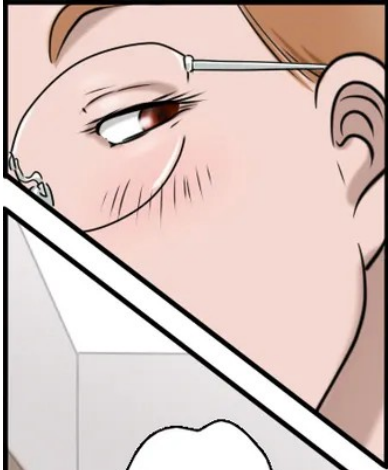
グチャ

お邪魔します...

もちろん千夏の居ないときをねらって...

ふふふふ...





さっ
遠慮しないで

入ってきなさい ♡



